

峯クリニック

峯 尚志

# 腹診について

# 腹診

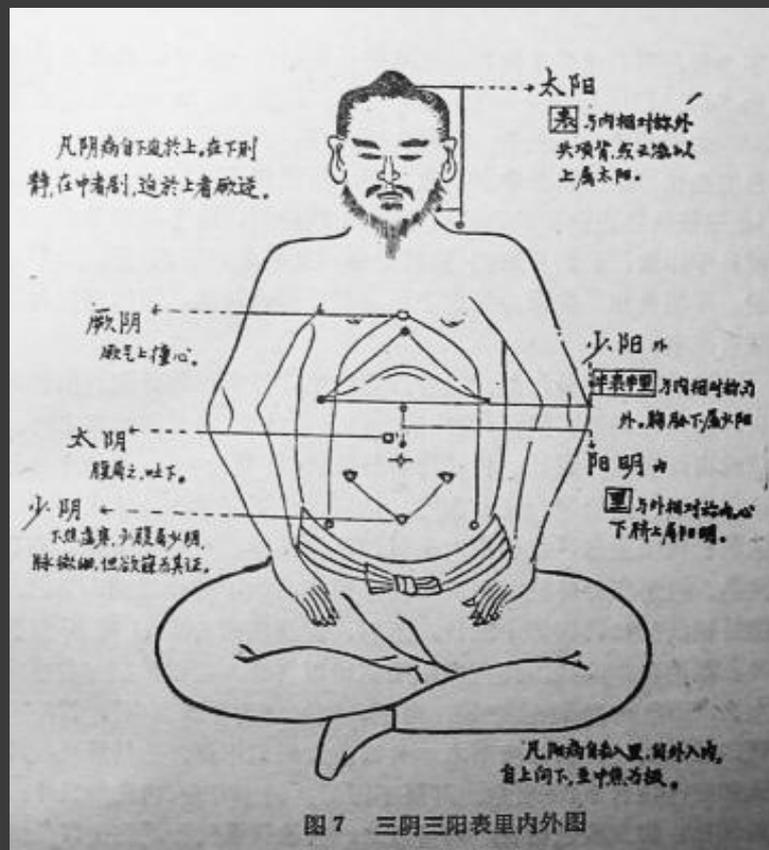
- ◎ 望聞問切の内の切診のひとつ。
- ◎ 切診の主なものは脈診と腹診。実際に患者さんにふれる診察法。
- ◎ 腹診には難経系（鍼灸系）と傷寒系（湯液系）がある。
- ◎ 腹診は日本漢方の中で発展をとげた。
- ◎ 傷寒系の腹診は、日本漢方の方証相對の考えに基づき、所見と処方が結びついているのが特徴。

# 吉益東洞

- ◎ 腹は生あるの本なり。故に百病は此れに根ざす。是をもって病を診するには必ずその腹を候う。
- ◎ 脈を捨てて腹を取り、腹証第一とした。

# 腹診の隆盛

- ◎ 稻葉文礼
- ◎ 「腹証奇覧」
- ◎ 和久田叔虎
- ◎ 「腹証奇覧翼」



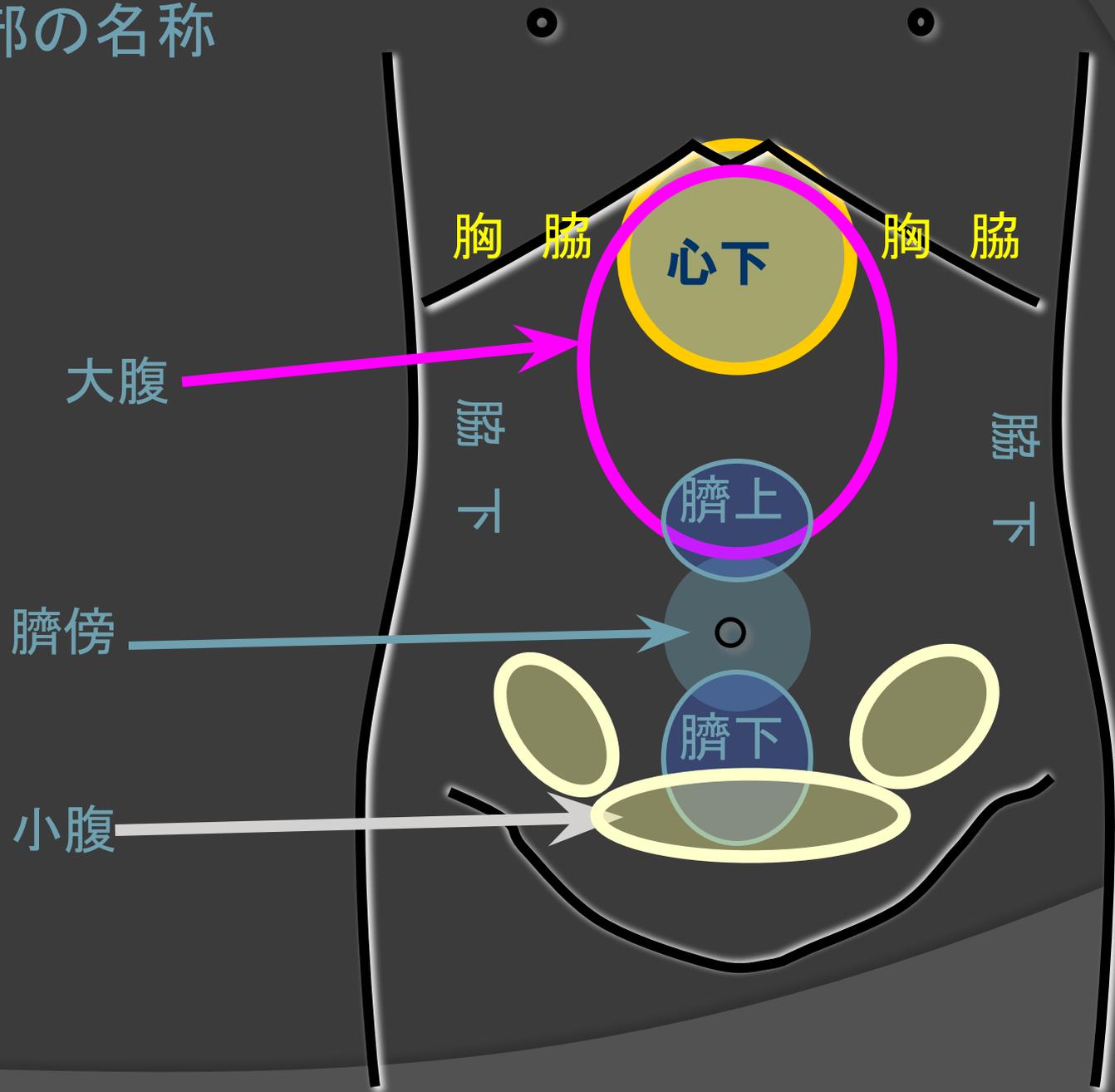
# 腹診の実際

- ◎ 患者の左側に位置して右手を用いて診察するのが一般的。
- ◎ 術者の手が冷たい場合は、温める。
- ◎ まず中脘あたりに手のひらを置き、手のひらを大きく使って腹力をみる。湯船に板を浮かべて上から抑えるときのように、やわらかくてなおかつ、しっかり下から返してくるようなお腹が腹力のあるお腹。
- ◎ その後、臍部、下腹部と触ってゆき、腹壁の厚い薄い、弾力、皮膚温、湿っているか乾燥しているか、動悸をふれるかをみる。
- ◎ 側腹部に手を置き、腹直筋の緊張の度合いをみる。
- ◎ 胸脇苦満、各種抵抗圧痛点をみる。

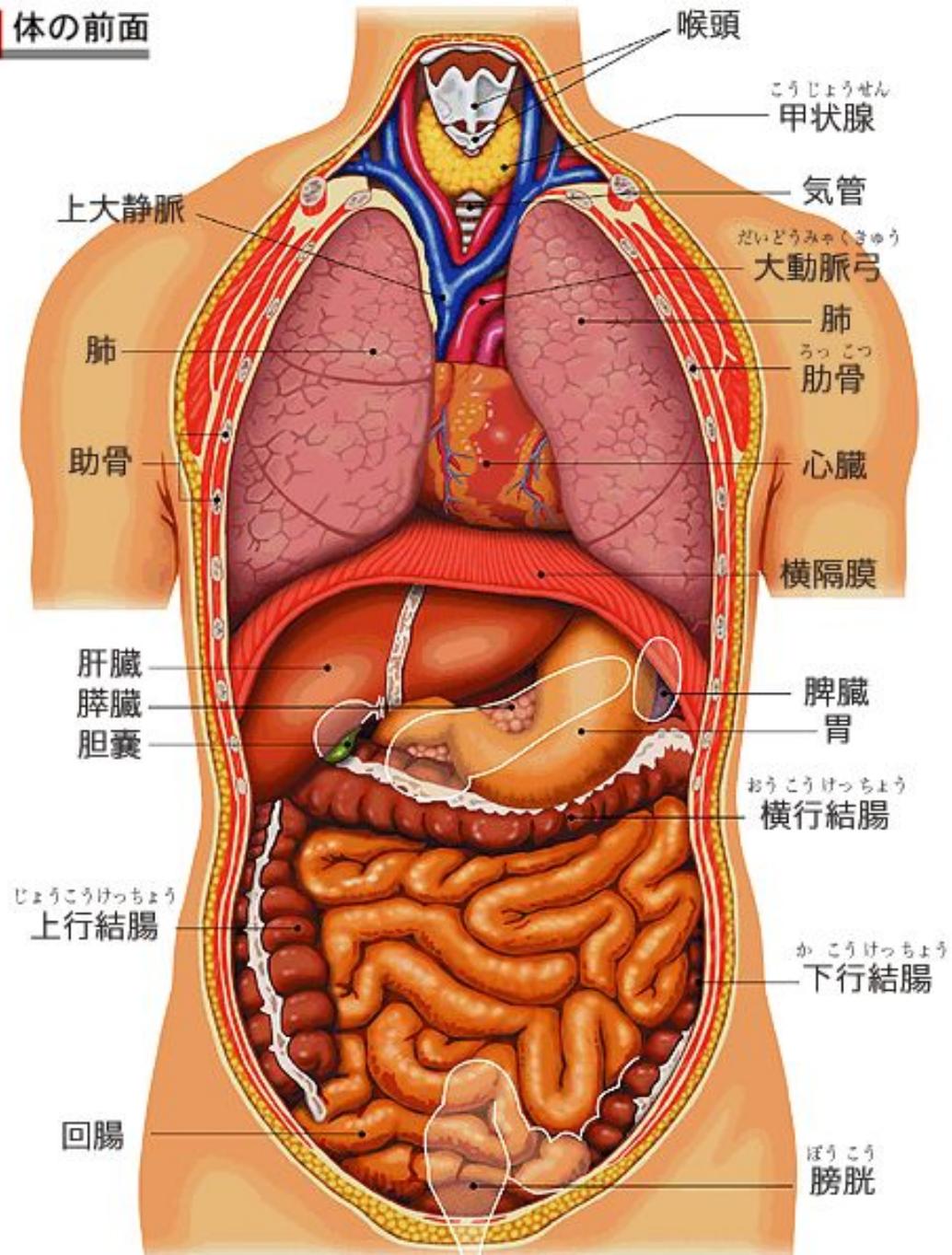
# 腹診の東西の違い。

- ◎ 西洋医学的な腹診は臓器診。膝をまげてお腹をゆるめて、臓器を触診する。
- ◎ 東洋医学的な腹診は、内臓体壁反射をみる。臓腑の異常は体表にあらわれると考える。膝を伸ばして、自然な腹壁の緊張がある状態でみる。

# ▶ 腹部の名称



体の前面



# 『腹證圖解 漢方常用處方解説』

高山 宏世 編著 『腹證圖解 漢方常用處方解説』より

# 腹診用語

- ◎ 心下痞
- ◎ 心下痞硬
- ◎ 胃内停水
- ◎ 胸脇苦満
- ◎ 胸脇満微結
- ◎ 心下支結
- ◎ 腹皮拘急
- ◎ 小腹不仁
- ◎ 正中芯
- ◎ 臍傍圧痛
- ◎ 小腹急結
- ◎ 回盲部の圧痛、抵抗
- ◎ 心下悸、臍上悸、臍下悸
- ◎ 腹満
- ◎ 蠕動不穩
- ◎ 心下満
- ◎ 心下痞堅
- ◎ 結胸

# 心下痞硬

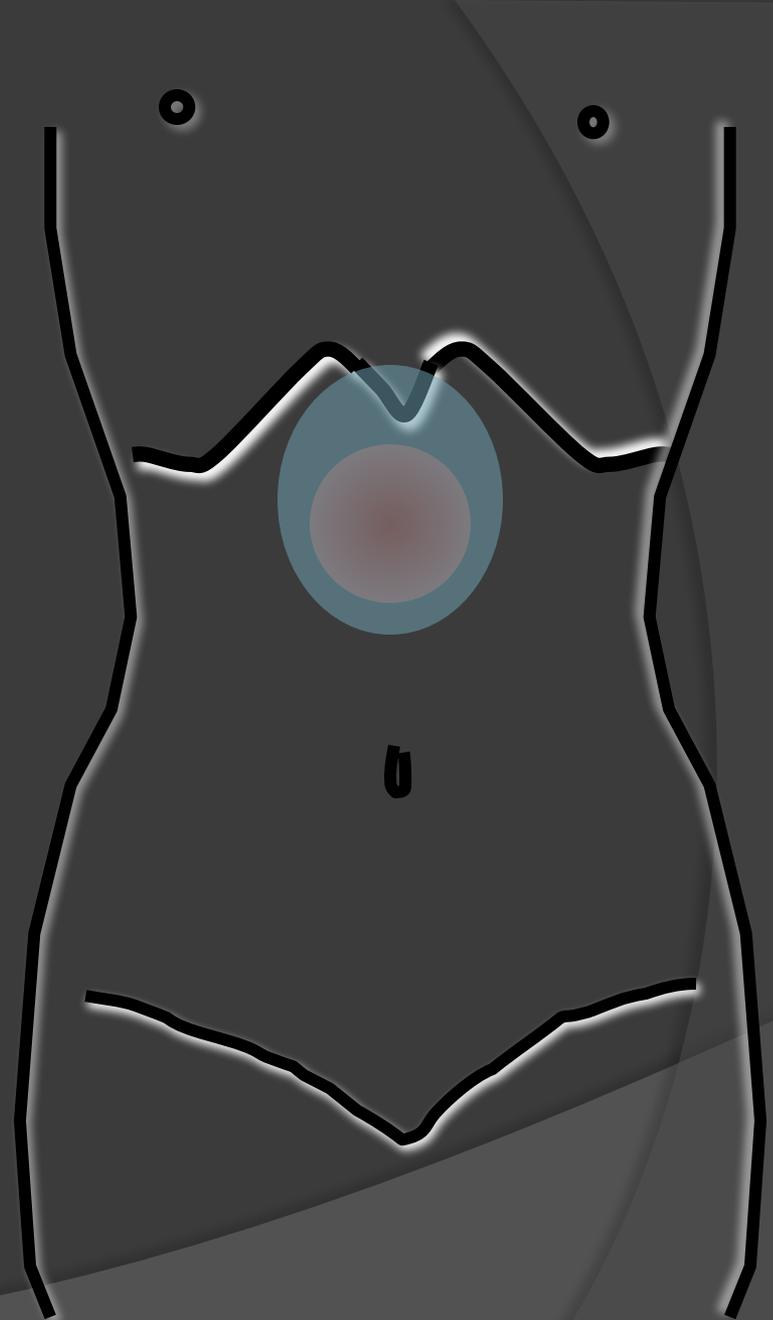
- ◎ 心下部につかえる感じがあって抵抗のあるもの。
- ◎ 心下の痞え感は食後には出やすいので注意する。
- ◎ **心下痞**は心下の痞える感じで**自覚症状**
- ◎ **心下痞硬**は心下部の痞える感じと抵抗のあるもので**他覚所見**。
- ◎ 代表処方方は半夏瀉心湯、人参湯など。

## 腹診所見①

しん か ひ こう  
心 下 痞 鞭

所見：心下痞鞭は心下が使えるという自覚症状(心下痞)と、同部位に抵抗やときには圧痛などの他覚所見を認める。

処方：瀉心湯類(半夏瀉心湯 など)や、  
人参湯類(人参湯、桂枝人参湯)を用いる  
目標。



はんげしゃしんとう  
半夏瀉心湯

診断のポイント

- ・悪心、嘔吐、胃膨満感
- ・心下痞鞭、腹力中等
- ・腹鳴り、下痢

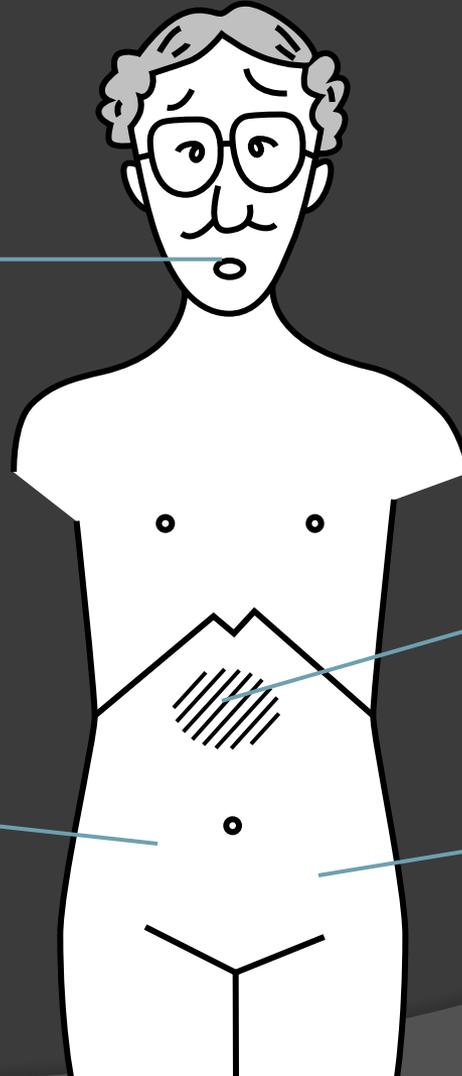
胃のつかえ  
嘔きたい感じ

食後は心下の痞えや  
抵抗がでやすいので注意。

腹部はやや  
緊張がよい

心下痞鞭

腹鳴(ゴロゴロ)  
ときに下痢

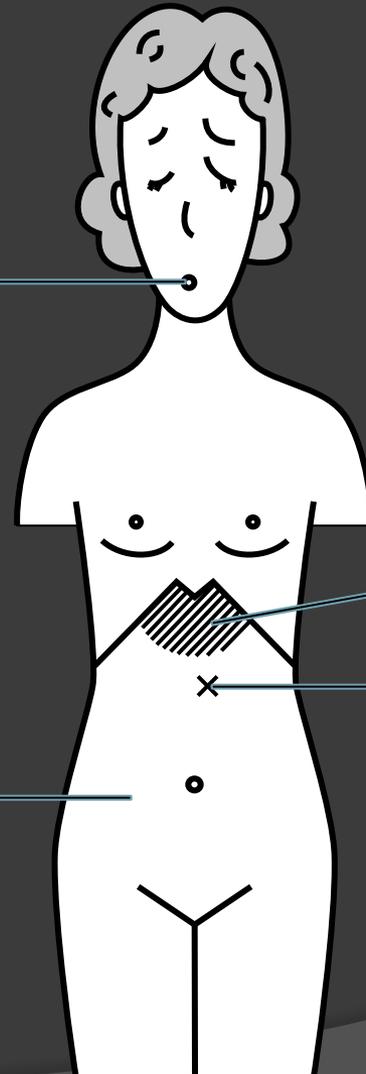


にん じん とう  
人 参 湯

診断のポイント

- ・腹部軟弱
- ・心下痞鞭
- ・冷え症、胃弱

唾がたまる



心下痞鞭

ときに胃内停水音  
動悸

腹部は薄く軟  
弱

# 心下痞硬と処方

## ◎ 半夏瀉心湯:

- 黄連1.0,黄芩3.0,人参3.0,半夏4.0,甘草2.0,乾姜2.0,大棗3.0

## ◎ 人参湯:

- 人参,朮3.0,甘草3.0,乾姜2.0

- 脾胃の冷え(裏寒)を取り除く甘草乾姜に人参を加えて冷えによる脾胃の機能低下を改善し痞えを取り除く。
- 黄連、黄芩の苦味で胃の熱をさまし、気を下ろす。

## 腹診所見②

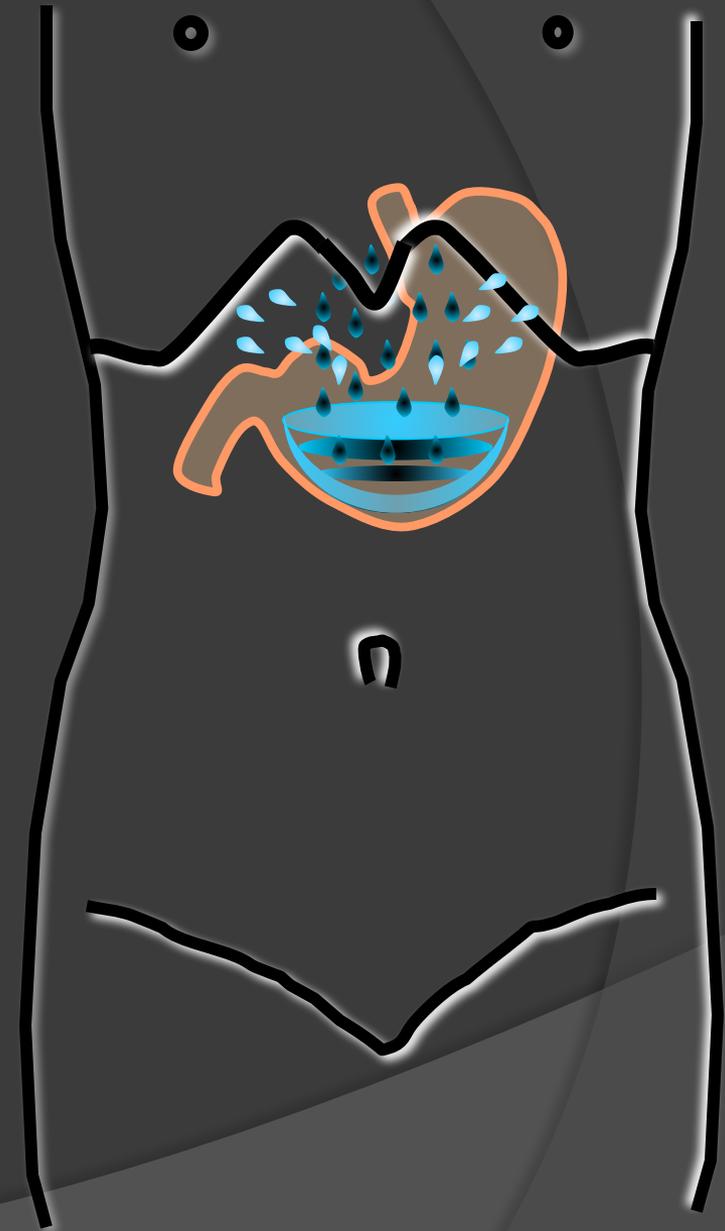
い ない ていすい ( いぶしんすいおん )  
胃内停水(胃部振水音)

所見：胃内停水は文字通り胃内に水が停滞することをいう。

心下部の腹壁を指頭でゆするように軽く叩いたりすると“チャポチャポ”と水の音がする。

胃壁が弛緩し胃内にある程度の胃液と空気がある場合は、胃内で振盪音が発生する。

処方：水滯(水毒)を示す腹候であり、人参湯、六君子湯、茯苓飲、真武湯、五苓散、苓桂朮甘湯、半夏白朮天麻湯等を用いる目標。



にん じん とう  
人 参 湯

診断のポイント

- ・腹部軟弱
- ・心下痞鞭
- ・冷え症、胃弱

唾がたまる

腹部は薄く軟弱

心下痞鞭

ときに胃内停水音動悸

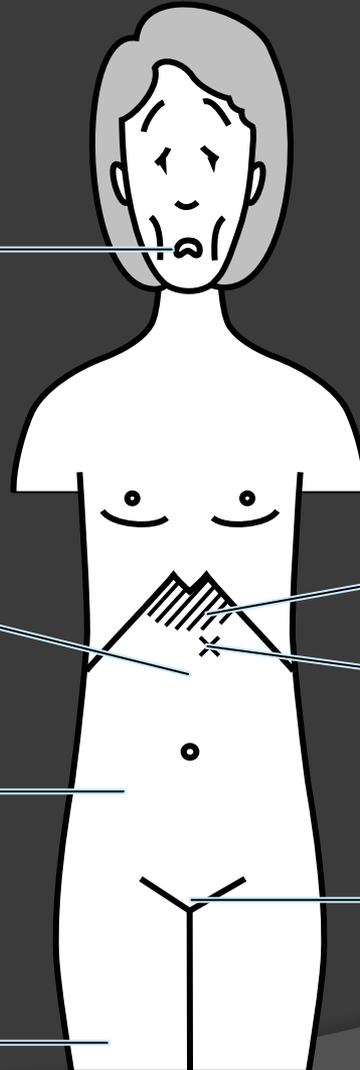
りっくんしとう  
**六君子湯**

食欲不振  
悪心  
嘔吐

胃内停水音

腹壁は薄  
やや軟弱

手足冷



**診断のポイント**

- ・食欲不振と食後の膨満感、睡気
- ・心下痞、胃内停水
- ・悪心、嘔吐、下痢傾向

軽度の心下痞

心下に軽い動悸を触知することが多い

下痢傾向

しんぶとう  
真武湯

診断のポイント

- ・冷え症 身体が重い
- ・めまい(立ちくらみ)
- ・動悸
- ・下痢、腹痛の傾向
- ・急性病では急激な衰弱

腹壁は軟弱

ときに腹直筋が  
緊張している  
(特に下部)

臍上及び心下  
に動悸を触れる

臍の外側2横  
指の辺りに圧痛  
(寺師圧痛点)  
を  
みとめ  
る

# 胃内停水と処方

胃腸の機能を高めて水をさばく

## ◎ 人参湯

- 人参3, 朮3, 甘草3, 乾姜3

## ◎ 六君子湯

- 人参4, 甘草4, 朮4, 茯苓4, 生姜0.5, 大棗2, 陳皮2, 半夏4

## ◎ 真武湯

- 朮3, 茯苓4, 生姜1.5, 芍薬3, ブシ末0.5

## ▶ 腹診所見③

きょう

きょう

く

まん

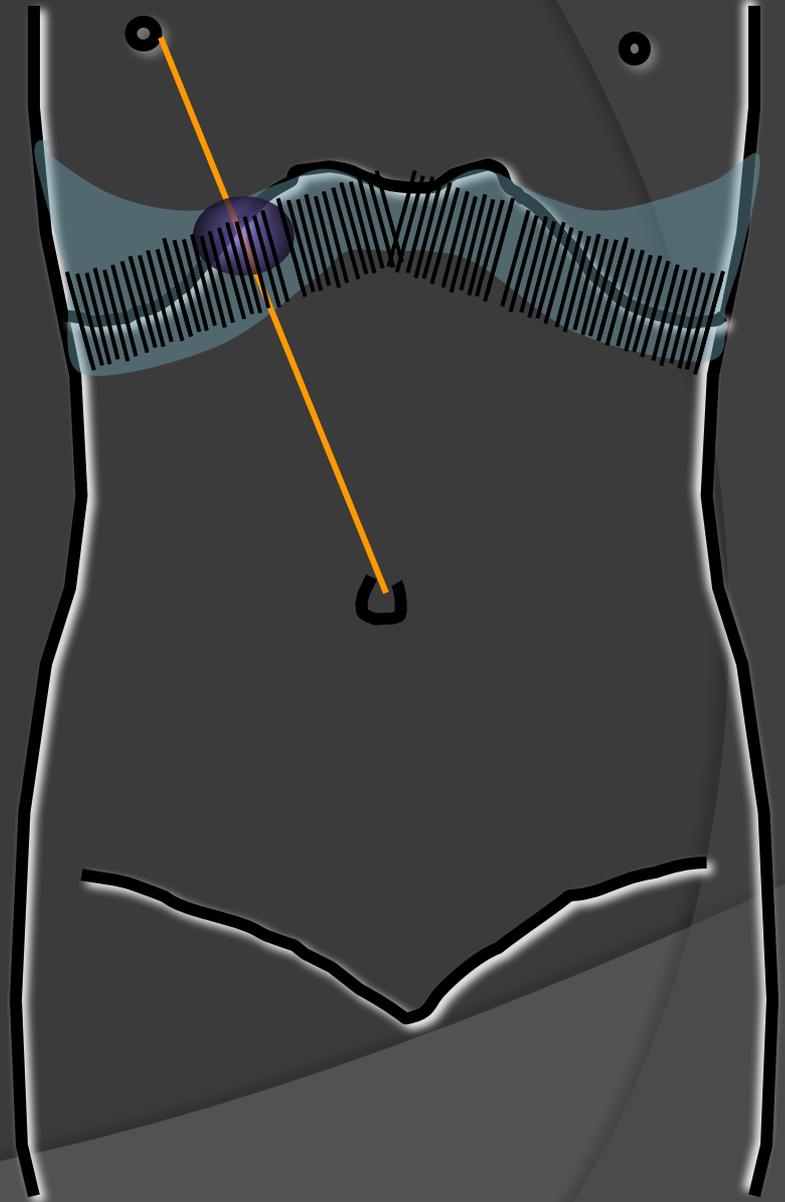
胸 脇 苦 満

所見：両脇季肋部辺縁を中心に出現するものと、両脇季肋部と脇腹、側胸部を含む範囲に出現するものがある。同部位に鈍痛や圧迫感を伴い抵抗圧痛を生じる。

両側季肋部を肋骨の内側に滑らせるように指を押し入れるとわかりやすい。

場所は乳頭と臍を結んだ線が肋骨弓と交わる点が顕著に出やすい。

処方：大柴胡湯、柴胡加竜骨牡蛎湯、  
四逆散、小柴胡湯、柴胡桂枝湯、  
柴胡桂枝乾姜湯など柴胡剤の  
主要目標。



だい さい こう とう  
大柴胡湯

体格よく(実  
の証)せ症(熱証)

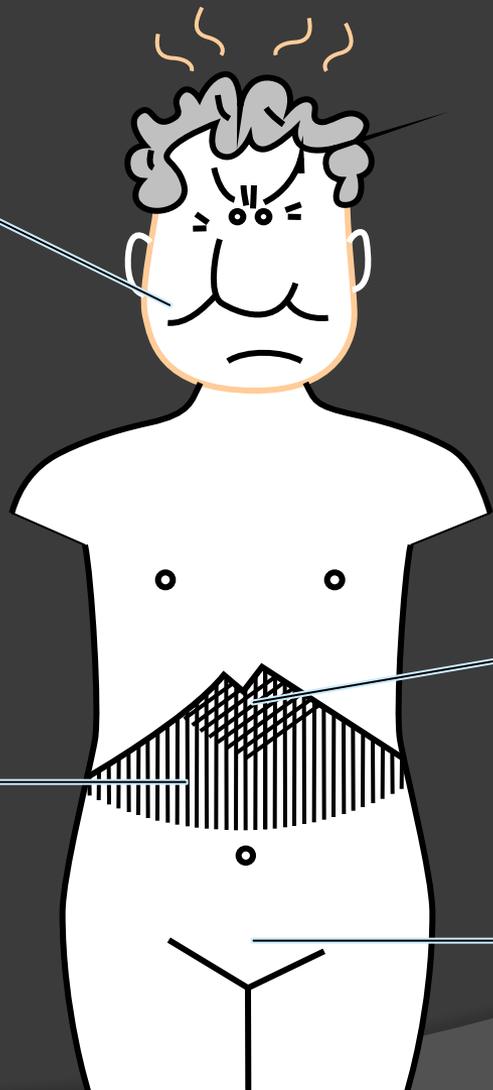
診断のポイント

- ・実証
- ・臍から上の緊張  
(胸脇苦満＋心下急)
- ・便秘傾向

広い範囲に  
胸脇苦満  
(柴胡＋黄芩)

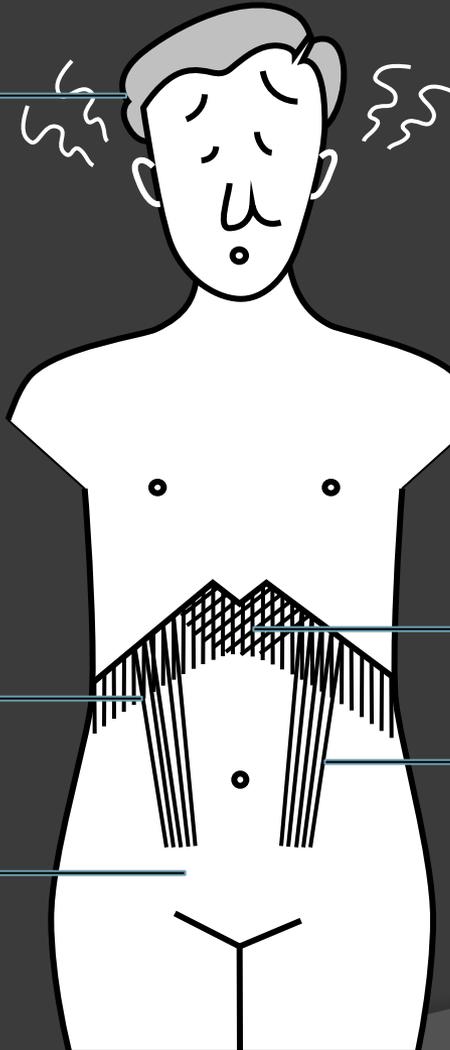
みぞおちがはる  
(心下急)  
(枳実＋芍薬)

便秘



しぎやくさん  
**四逆散**

イライ  
抑うつ  
不眠



**診断のポイント**

- ・両側の著明な胸脇苦満と腹皮拘急(竹の字形)
- ・抑うつ性の神経症状(肝気うつ結)
- ・内熱表寒による四肢の冷感や拘急(熱厥)

両側の胸脇苦満

腹力は中等度  
緊張良好

心下痞

著明な腹皮拘急

四肢の冷感

# 小柴胡湯の腹証

- ◎ 小柴胡湯の腹証は、まず大抵胸脇苦満といって両方の脇骨のはづれの処に急度(きゅうつと)手にさわる物ありて、按ずれば胸へこたえ痛なり。

脇下痞硬は鳩尾へかからば、肋骨のはづれへつかえ堅く心下にひくひくと動悸あり尤も苦満する者。

- ◎ 「東洞先生家腹診論」

しょうさい こうとう  
小柴胡湯

口苦、咽乾  
食欲不振  
嘔気

診断のポイント

- ・往来寒熱
- ・胸脇苦満
- ・嘔気や咳

目眩

首すじのこり  
(頸項強)

胸脇苦満

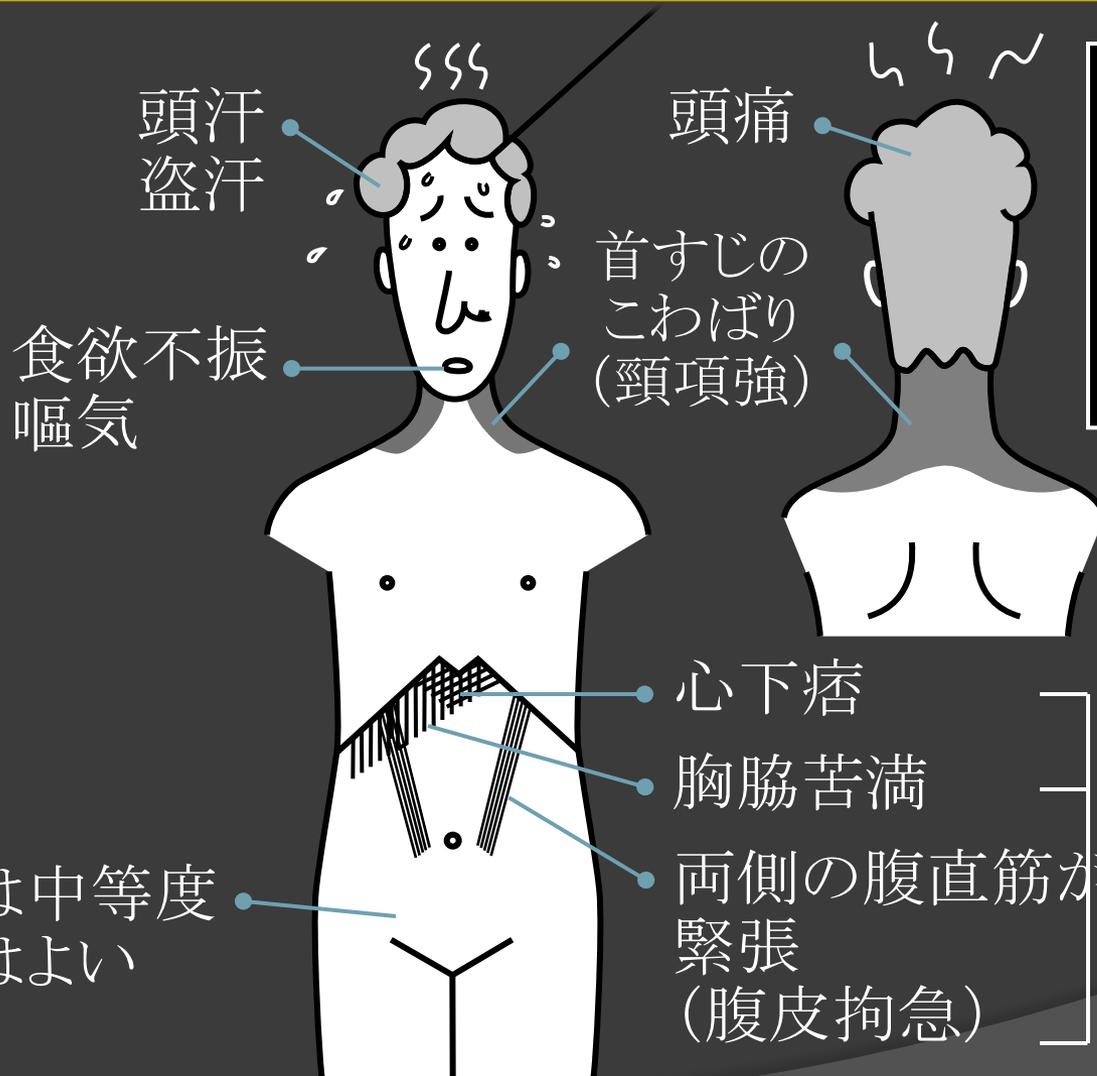
心下痞

腹直筋の緊張は  
中等度

# 心下支結

- ◎ 軽い胸脇苦満、上腹部の腹直筋緊張、心下痞があり、上腹部全体に抵抗がある。

さい こ けい し とう  
**柴胡桂枝湯**



**診断のポイント**

- ・胸脇苦満と腹皮拘急 (心下支結)
- ・自汗(首から上)盗汗
- ・背や肩のこり (頸項強)

# 胸脇満微結

- ◎ 胸脇苦満の程度は軽い。
- ◎ 胸骨剣状突起の直下、鳩尾に圧痛あり。
- ◎ 口渇、往来寒熱、頭汗、小便不利。
- ◎ 心下部に水飲が停滞している。

さい こ けい し かん きょう とう  
**柴胡桂枝乾姜湯**

頭汗  
盗汗

冷え  
肩こり

軽い心下痞と  
胸脇苦満  
(胸脇満微結)

腹は薄く軟弱

診断のポイント

- ・虚弱で神経質
- ・しばしば盗汗、冷え症
- ・極く軽い胸脇苦満と臍上悸

背中  
の凝り

剣状突起の下(鳩尾)  
に圧痛

動悸(臍上悸)

腹直筋がやや緊張

# 結胸

- ◎ 心窩部および胸脇部に熱痰が停滞している。
- ◎ 胸痛、咳嗽、喀痰、黄色粘調痰、心窩部痛、舌苔黄膩。

# さいかんとう 柴陷湯

## 診断のポイント

- ・胸痛を伴う咳痰
- ・結胸、圧痛
- ・胸脇苦満、往来寒熱

口苦

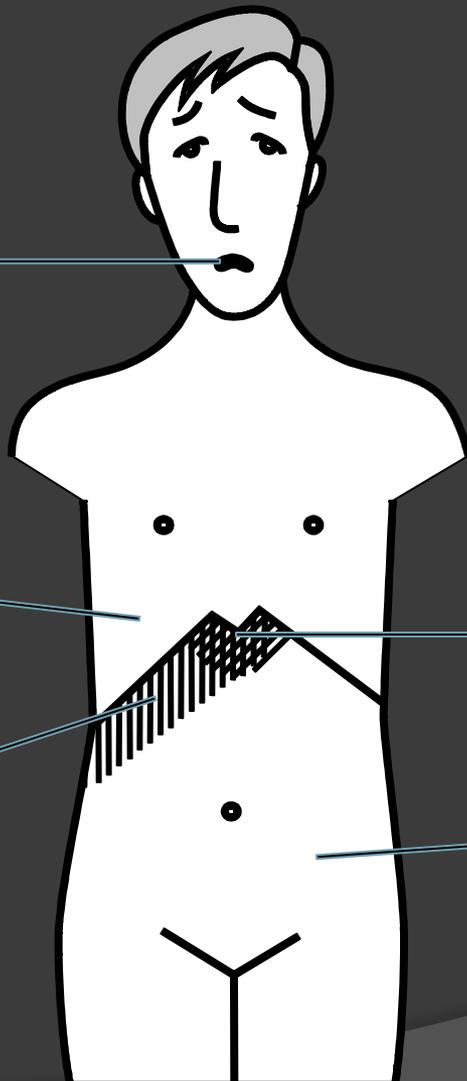
胸部圧迫感

胸痛

著明な胸脇苦満

結胸。固く詰まった感じ、  
圧痛あり。

腹壁はやや緊張良好



# 柴胡劑

## ◎ 大柴胡湯

- 柴胡6, 黃芩3, 芍藥3, 枳實2, 半夏4, 生姜1, 大棗3, 大黃1

## ◎ 四逆散

- 柴胡5, 芍藥4, 枳實2, 甘草1.5

## ◎ 小柴胡湯

- 柴胡7, 黃芩3, 半夏5, 人參3, 生姜1, 甘草2, 大棗3

## ◎ 柴胡桂枝湯

- 柴胡5, 黃芩2, 半夏4, 人參2, 生姜1, 甘草2, 大棗2, 桂皮2, 芍藥2

# 柴胡劑2

## ◎ 柴胡桂枝乾姜湯

- 柴胡6,黃芩3,桂皮3,甘草2,乾姜2,栝樓根3,牡蛎3

## ◎ 柴陷湯

- 柴胡5,黃芩3,半夏5,人參2,生姜1,甘草1.5,大棗3,黃連1.5,栝樓仁3
- 栝樓根 養胃生津止渴、清肺潤燥、消腫排膿
- 栝樓仁 清熱化痰、利氣開胸、降濁散結、消腫散結、潤腸通便

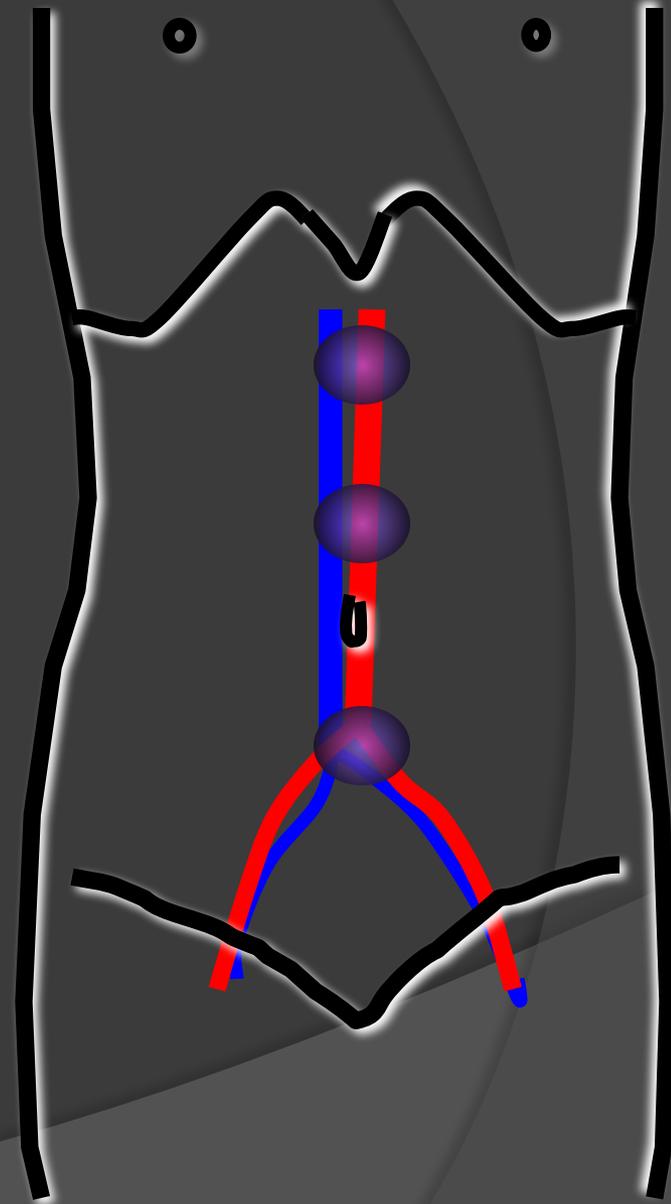
## 腹診所見⑩

しん か き ・ さい じょう き ・ さい か き

### 心下悸・臍上悸・臍下悸

所見：心下悸は心窩部で、臍上悸は臍上部、  
臍下悸は臍下部で腹部大動脈の拍動を触  
れる腹候である。

処方：気逆を示す腹候であり、苓桂朮甘湯、  
柴胡加竜骨牡蛎湯、桂枝加竜骨牡蛎湯など  
を用いる目標。



さい こ かりゅうこつ ぼ れい とう  
**柴胡加竜骨牡蛎湯**

不眠  
抑うつ  
不安

診断のポイント

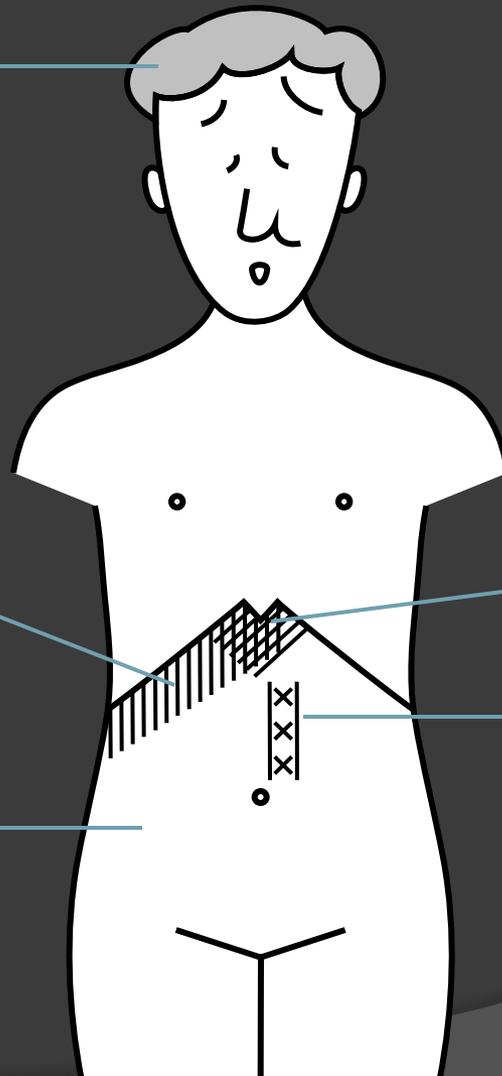
- ・胸脇苦満
- ・臍上悸
- ・煩驚

胸脇苦満

心下痞

著明な搏動  
(臍上悸)

腹力は中等度  
弾力のある腹壁



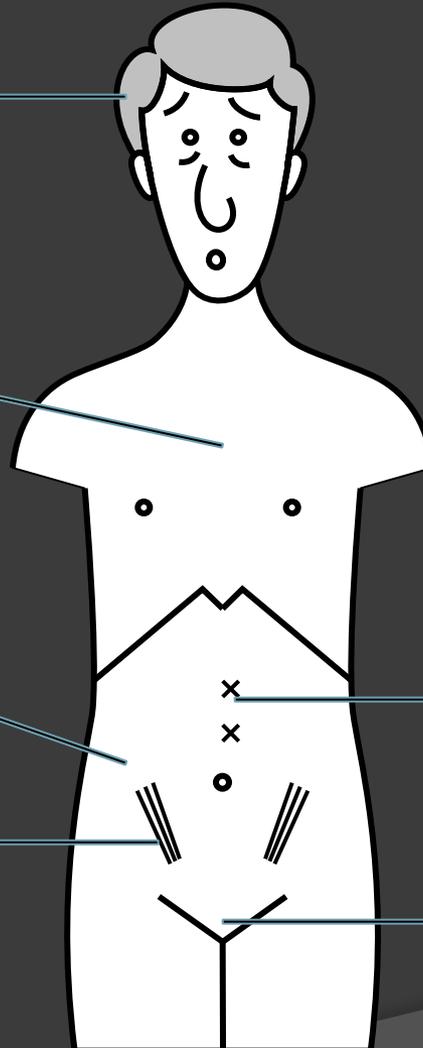
けい し かりゅう こつ ぼ れい とう  
**桂枝加竜骨牡蠣湯**

フケや脱毛

逆上  
煩驚  
動悸

腹力はやや軟

下腹部の  
腹直筋緊張  
(小腹弦急)



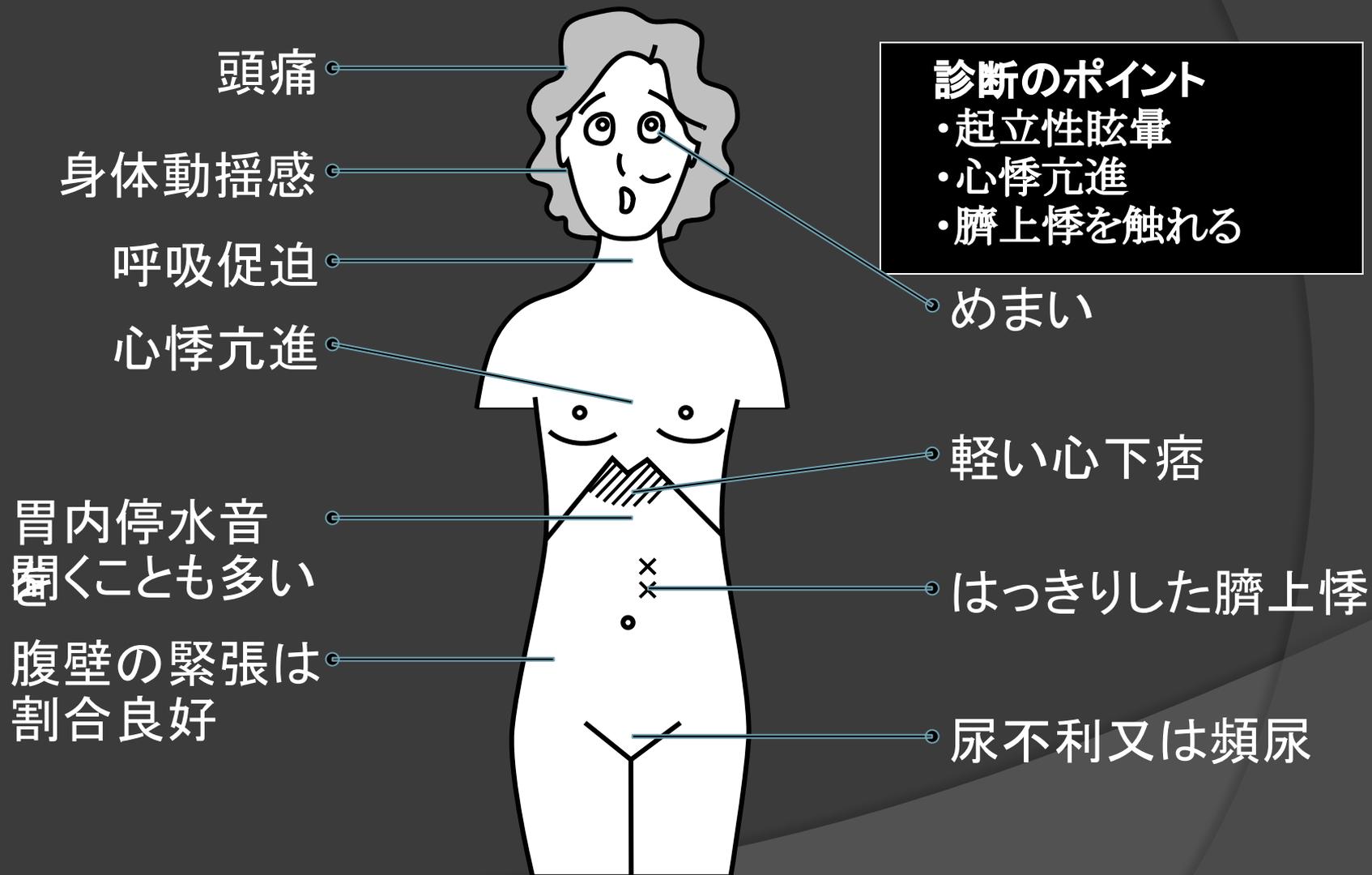
**診断のポイント**

- ・神経症状(夢精、夢交、不眠、煩驚、動悸)
- ・小腹弦急
- ・臍動悸

腹部大動脈の  
搏動触知(臍上悸)

夢精、夢交

りょう けい じゅつ かん とう  
**苓桂朮甘湯**



# 心下悸の処方

## ◎ 柴胡加竜骨牡蠣湯

- 柴胡5,黄芩2.5,半夏4,人参2.5,生姜1,大棗3,桂皮3,茯苓3,竜骨2.5,牡蛎2.5

## ◎ 桂枝加竜骨牡蠣湯

- 桂皮4,芍薬4,甘草2,生姜1.5,大棗4,竜骨3,牡蛎3

## ◎ 苓桂朮甘湯

- 茯苓6,桂皮4,朮3,甘草2

# 腹皮拘急、裏急

- ◎ 腹直筋の緊張
- ◎ 東洞流では二本棒と呼んだ。
- ◎ 小建中湯、黄耆建中湯、芍薬甘草湯、桂枝加芍薬湯、桂枝湯の腹証。
- ◎ 立てば芍薬という風に芍薬の証と考えることもできる。
- ◎ 腹力としては虚のものが多く、弱い腹部を守るために腹筋が緊張しているものと考えている。
- ◎ 腹直筋の緊張は生体のバイタリティが何らか損なわれた時に発現するらしい。

## ▶ 腹診所見④

ふく ちよくின்れん きゆう (ふくひこうきゆう)

### 腹直筋攣急(腹皮拘急)

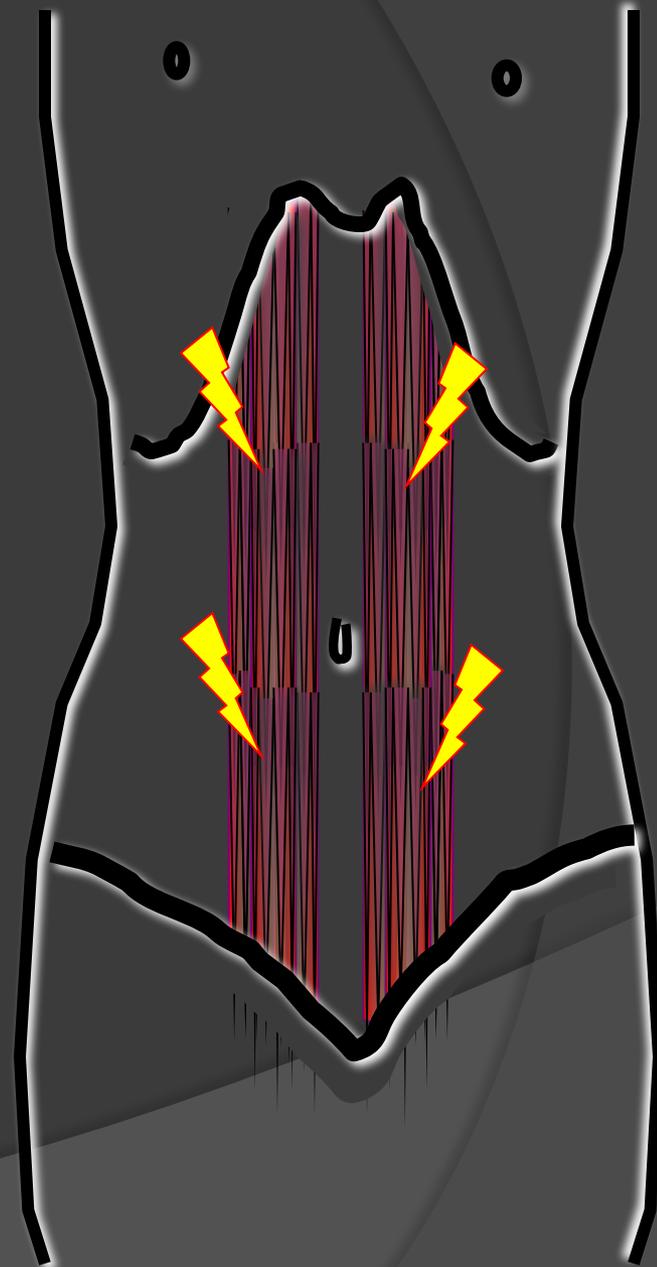
所見: 腹直筋が過度に緊張した状態をいう。

通常は両側対称性であるが、左右どちらかに特に強く出ることもある。

また、上部が緊張していて、下部が緊張していないものもある。

処方: 両腹直筋が上から下まで均等に緊張している場合は芍薬甘草湯、腹直筋の外側の腹壁が著しく弱い場合は小建中湯や黄耆建中湯を用いる。

腹直筋の緊張に胸脇苦満を合併している場合は四逆散や柴胡桂枝湯を用いる。



けい し か しゃく やく とう  
桂枝加芍薬湯

診断のポイント

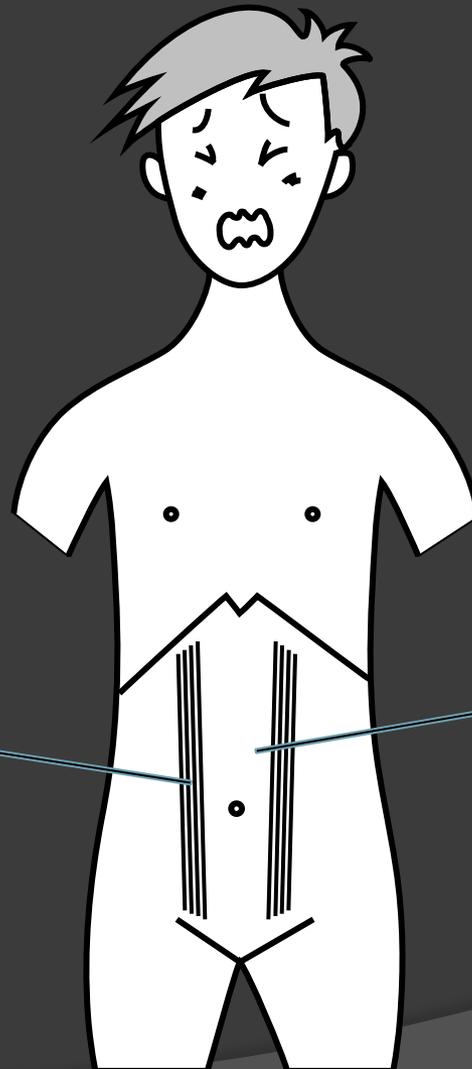
- ・腹痛、虚満
- ・腹皮拘急
- ・下痢、裏急後重

腹部平坦  
軟弱

腹満(虚満)  
腹痛

腹直筋の緊張が  
強い(腹皮拘急)

しょうけんちゅうとう  
小建中湯



診断のポイント

- ・腹部軟弱
- ・腹皮拘急
- ・小児では胃腸型の虚  
弱児

腹直筋の緊張  
(腹皮拘急)  
や腹痛

腹部は軟弱

腹全体がグニャグニャ  
と軟らかい場合もある  
くすぐったがり(小児)

# 腹皮拘急の処方

- ◎ 芍薬甘草湯

- 芍薬6,甘草6

- ◎ 桂枝加芍薬湯

- 桂皮4,芍薬6,甘草2,生姜1,大棗4

- ◎ 小建中湯

- 桂皮4,芍薬6,甘草2,生姜1,大棗4,膠飴10

- ◎ 黄耆建中湯

- 桂皮4,芍薬6,甘草2,生姜1,大棗4,黄耆4

# 心下満

- ◎ 心下満は腹満と違って心下部だけの膨満。
- ◎ 心下痞満は心下部に痞え感があって、膨満しているもの。

## ▶ 腹診所見⑬

しん か まん しん か ひ まん  
心 下 満 (心下痞満)

所見:心下満は、腹満と違って、心下部だけの膨満である。

心下痞満は、心下部につかえる感じがあって、この部の膨満しているのをいうが心下満と心下痞満とを区別することは難しい。

**胃内停水を伴うことが多く、軽い胸脇苦満を伴う場合もある。**

処方:茵陳蒿湯、苓桂朮甘湯、五苓散、茯苓飲、半夏厚朴湯、沢瀉茯苓湯などを用いる目標。



はん げ こう ぼく とう  
半夏厚朴湯

気分沈うつ  
不安

咽中炙癢

胸のつかえ

腹部は全体に軟らか  
いが張った感じ  
(微満)

診断のポイント

- ・咽中炙癢(あるいは梅核気)
- ・胸につまった感じ(痞塞感)
- ・神経質、ノイローゼ傾向

軽い心下痞

心下に軽い動悸を  
触れることがある

ぶくりょう いん  
茯苓飲

悪心、嘔吐  
吐水

吞酸 嘔噎

心下痞  
(胃部膨満感  
と  
軽い抵抗)

腹壁は軟

診断のポイント

- ・悪心、嘔吐
- ・食後苦しまずに嘔吐  
することが多い。
- ・胃内停水
- ・尿不利、足冷

動悸(心下悸)

胃内停水

# 心下満の処方

## ◎ 小半夏加茯苓湯

- 半夏6, 生姜1.5, 茯苓5

## ◎ 半夏厚朴湯

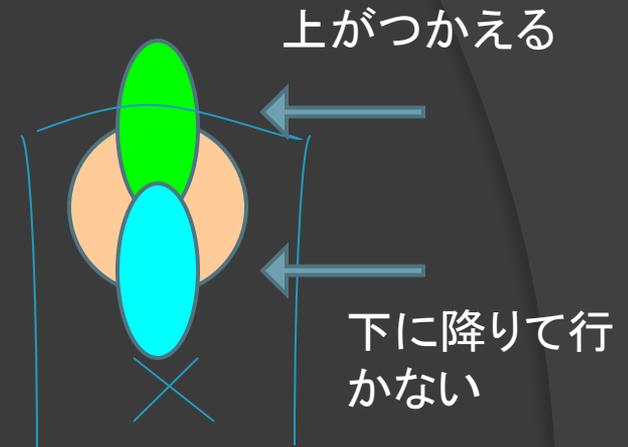
- 半夏6, 生姜1, 茯苓5, 厚朴3, 蘇葉2

## ◎ 茯苓飲

- 人参3, 朮4, 茯苓5, 枳実1.5, 陳皮3, 生姜1

## ◎ 茯苓飲含半夏厚朴湯

- 半夏6, 生姜1, 茯苓5, 厚朴3, 蘇葉2, 人参3, 朮4, 枳実1.5, 陳皮3



## ▶ 腹診所見⑭

しん か ひ けん  
心 下 痞 堅

所見：心下部が板のように硬く張って弾力性のない状態。

「心下痞鞭に似て、心下痞堅と呼ぶ腹証がある。心下痞鞭は下部に抵抗を感じても、弾力性の抵抗のものが多  
いが、心下痞堅は心下部が板のように堅くて弾力性が  
ない。このような腹証は木防已湯を用いる目標である。」  
(大塚敬節氏)

処方：木防已湯、茯苓杏仁甘草湯などを用いる目標。



もく ぼう い とう  
木防已湯

桂皮3,人参3,防已4,石膏10

喘息  
呼吸困難  
口渴

診断のポイント  
・心下痞堅  
・呼吸促迫、喘咳  
・うっ血性心不全の兆候

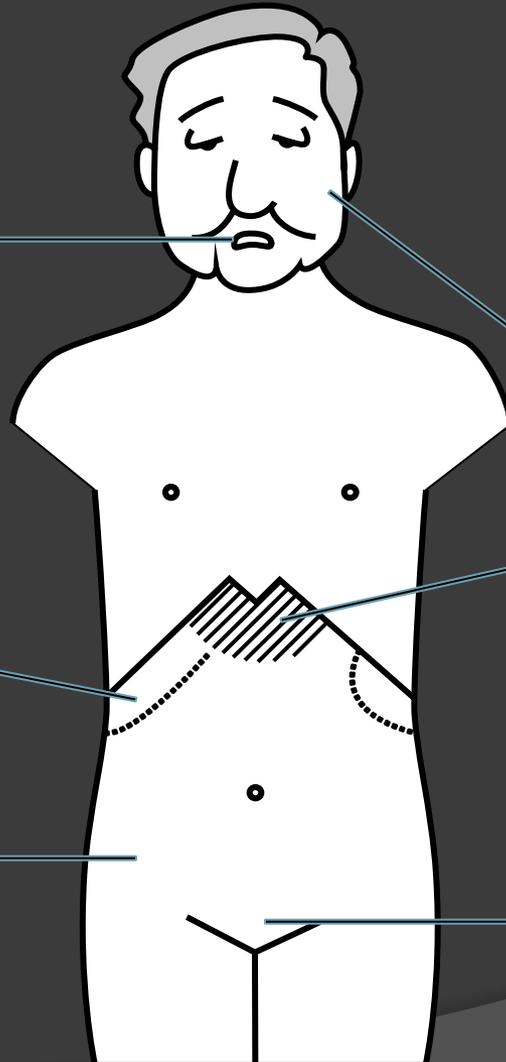
顔面蒼黒色

心窩部は甚し  
硬く痞塞感がある  
(心下痞堅)

時にうっ血性の  
肝腫、脾腫

腹部膨満  
(硬満)

尿不利



## 腹診所見⑦

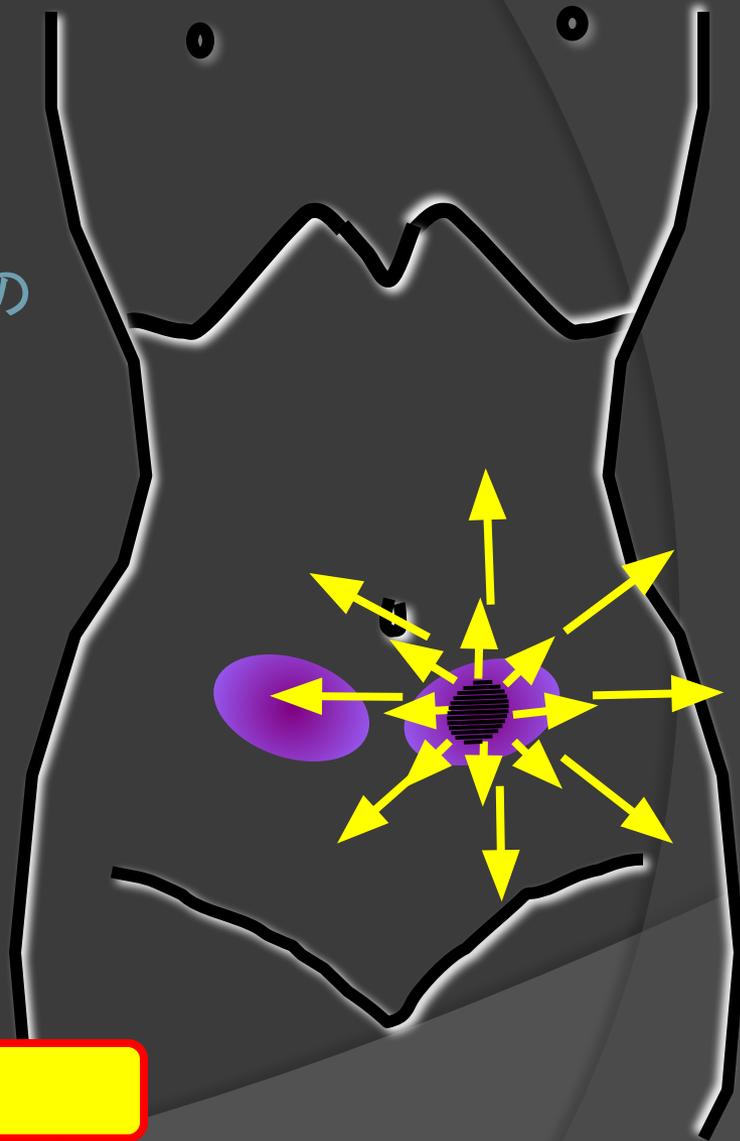
さい ぼう あっ つう  
臍 傍 圧 痛

所見：臍周囲に出現する圧痛で、瘀血病態の存在を示唆する重要な症候の一つである。

処方：当帰芍薬散（虚証：放散する圧痛）  
などの駆瘀血剤を用いる。

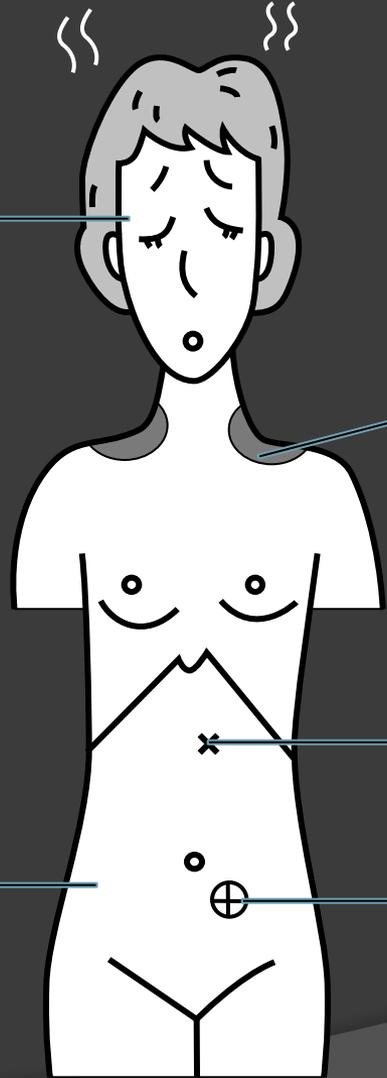
放散する圧痛（虚痛）→当帰芍薬散

圧痛抵抗（実痛）癥瘕 → 桂枝茯苓丸（実証）



とう き しゃく やく さん  
当歸芍薬散

めまい  
やせ  
顔色はわるい



診断のポイント

- ・血虚＋水毒
- ・冷え症、めまい
- ・無力様体質

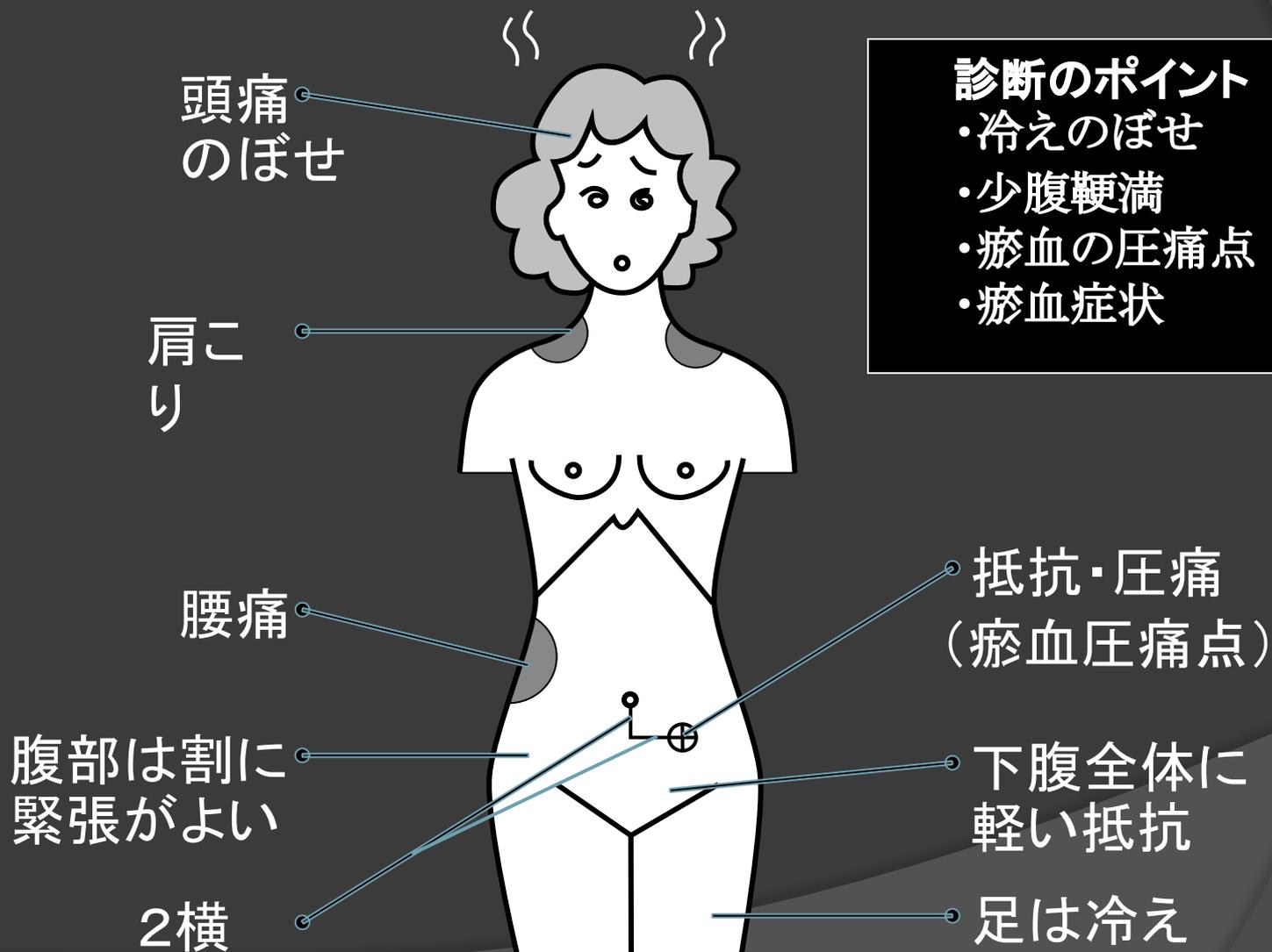
肩こり

腹部軟弱

動悸  
胃内停水音

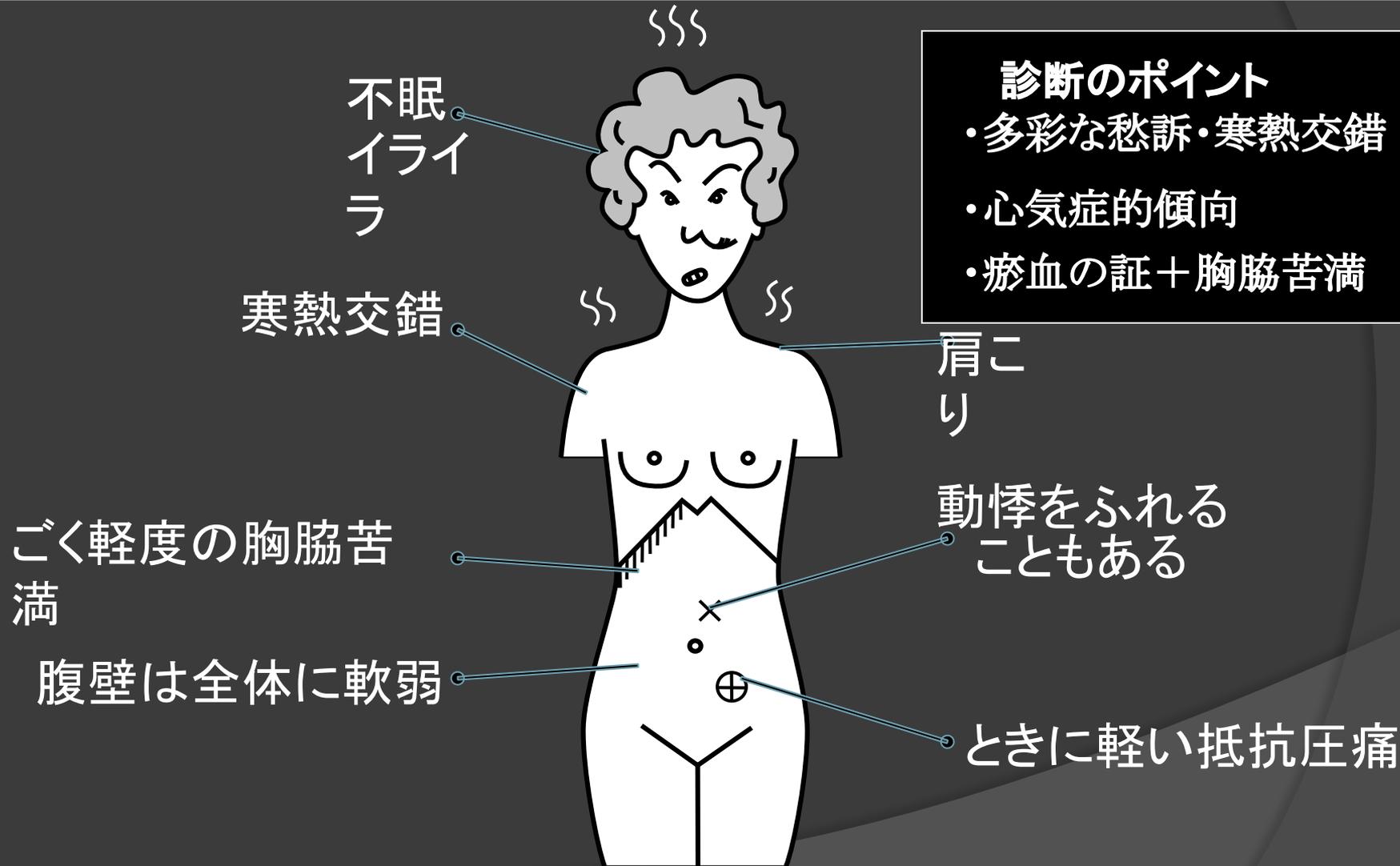
抵抗・圧痛または  
索状物

けい し ぶくりょう がん  
**桂枝茯苓丸**



**診断のポイント**  
・冷えのぼせ  
・少腹鞭満  
・瘀血の圧痛点  
・瘀血症状

か み しょう よう さん  
加味逍遥散



# 臍傍压痛

## ◎ 当归芍药散

- 当归3,芍药3,川芎3,朮4,茯苓4,沢瀉4

## ◎ 桂枝茯苓丸

- 桂皮3,茯苓3,芍药3,牡丹皮3,桃仁3

## ◎ 加味逍遥散

- 柴胡3,当归3,芍药3,甘草1.5,朮3,茯苓3,薄荷1,  
山梔子2,牡丹皮2

参考: 气、血、水、瘀血

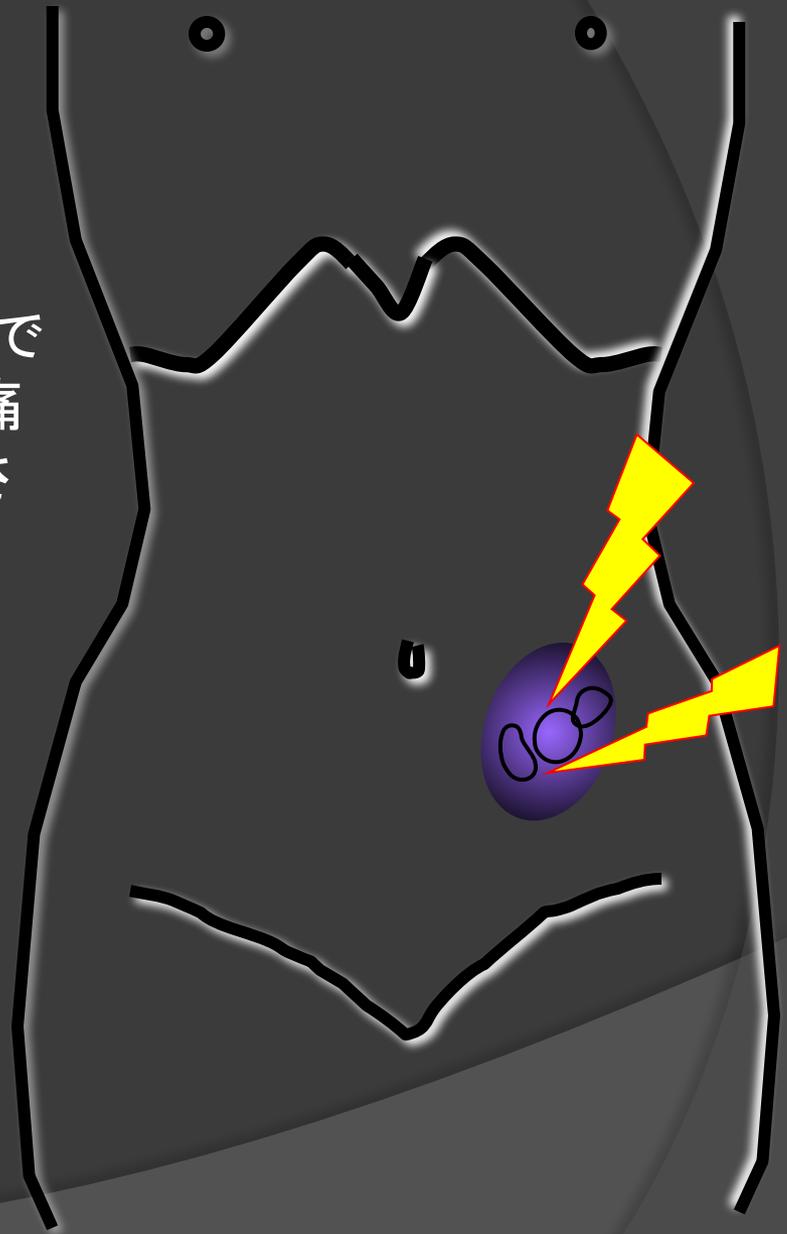
## 腹診所見⑧

しょう ふく きゅう けつ  
少 腹 急 結

所見：左腸骨窩に現れる腹候で、指先で同部位を擦過するだけで急迫性の疼痛を生じるものをいい、**瘀血証**の腹候とされている。

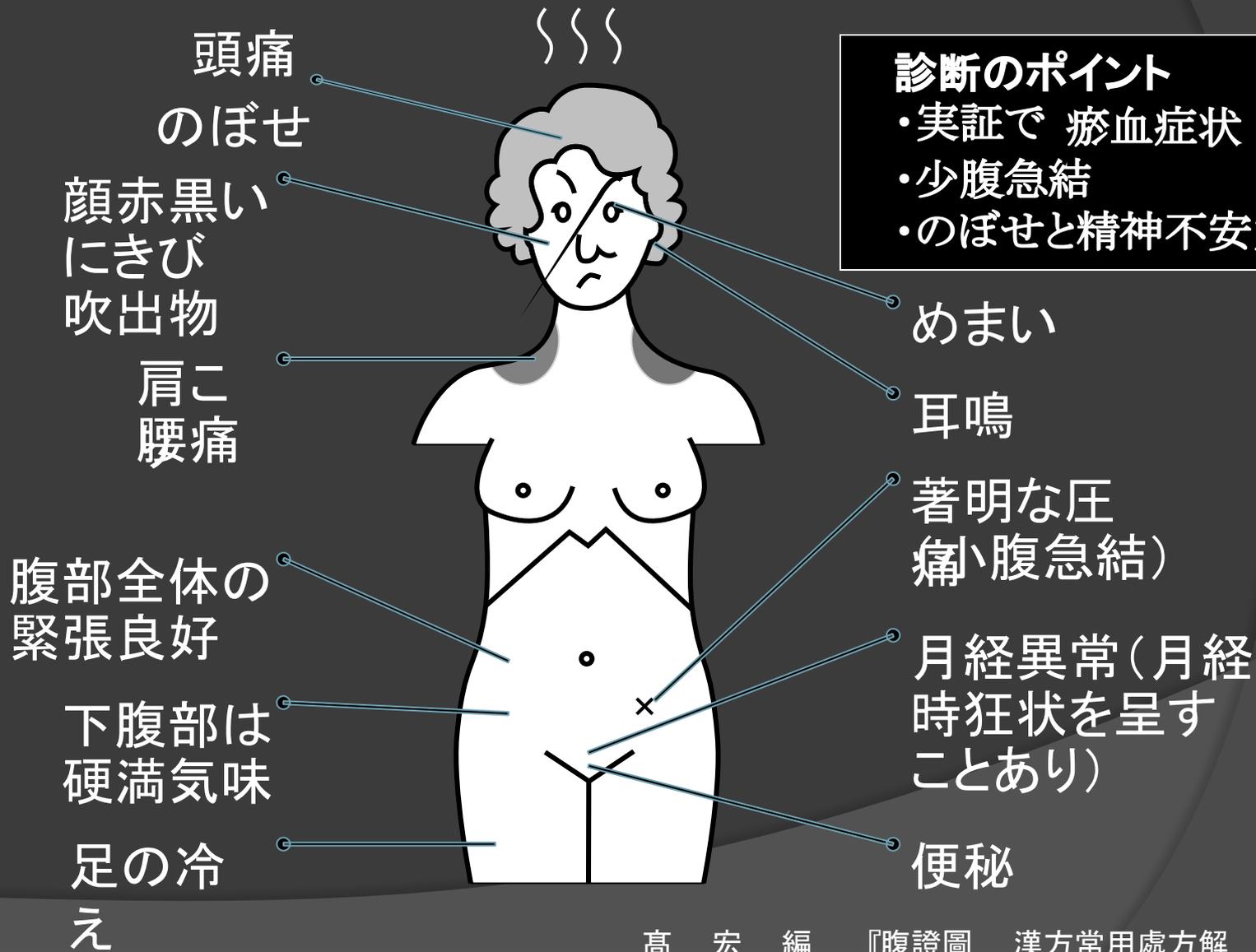
処方：桃核承気湯、桂枝茯苓丸の適応

疼痛が激しい場合は、膝をかがめ、声を出し痛みを訴える。意識不明瞭な患者でも顔をしかめて、医師の手を払いのけようとする。**(癥瘕：索状物)**



とう かく じょう き とう  
**桃核承気湯**

桂皮4,甘草1.5,桃仁5,  
大黃3,芒硝1.5



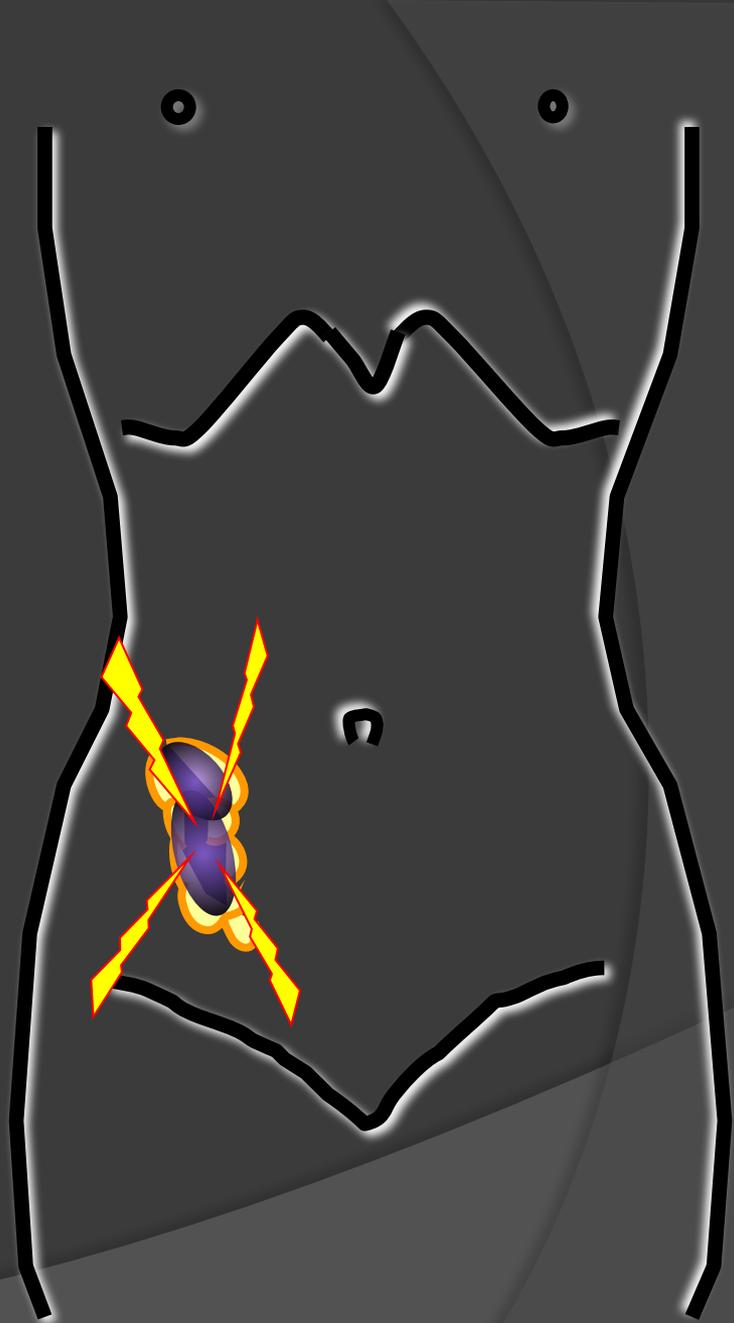
## 腹診所見⑨

かい もう ぶ てい こう あっ つう

### 回盲部の抵抗・圧痛

所見：回盲部を指頭で軽く触診した場合に診られる腹壁筋の硬結と、この部を圧迫した際に現れる放散痛を回盲部の抵抗・圧痛という。瘀血証の腹候として大切。

処方：大黃牡丹皮湯、腸癰湯などを用いる

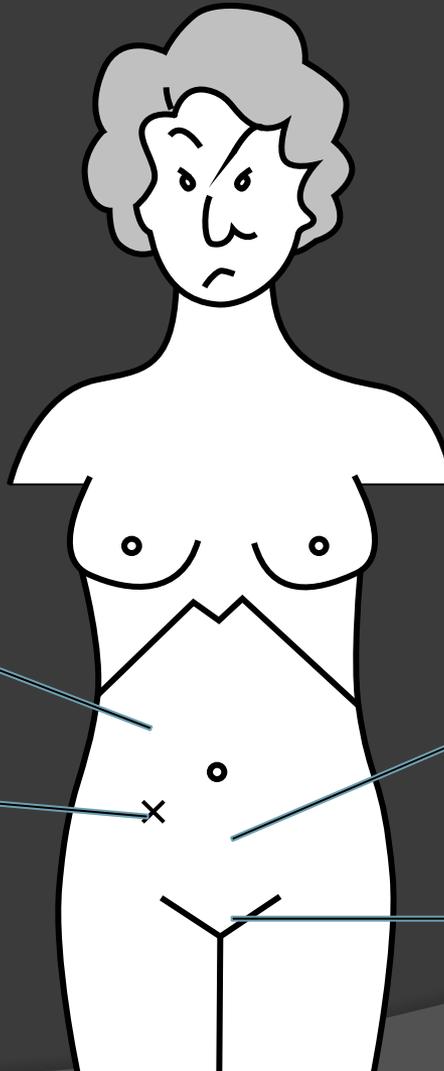


だい おう ぼ たん び とう  
**大黄牡丹皮湯**

牡丹皮4, 桃仁4, 冬瓜子6,  
大黄2, 芒硝1.8

**診断のポイント**

- ・右臍傍圧痛抵抗
- ・腹力充実、便秘
- ・脉沈で実脉



腹部充実  
緊張良好

回盲部に抵抗圧痛  
(McBurney圧痛点  
に一致)

下腹部は緊満し、  
時に圧痛がある

便秘

# 腎

- ◎ 先天の元気を主る。
- ◎ 加齢によって先天の元気、すなわち腎のエネルギーは徐々に衰えてゆく。その結果は老化(エイジング)の過程と一致する。

# 年をとると

- ◎ 足腰が衰えて、腰や膝がだるく痛くなってくる。
- ◎ 長く立っているのがつらくなってくる。
- ◎ 腰が曲がってお腹の力がなくなってくる。
- ◎ 筋肉が痩せ衰えてくる。
- ◎ 変化に対する適応力、病気に対する抵抗力が衰える。
- ◎ 精力が衰える。(インポテンツになる)
- ◎ 足腰が冷える。
- ◎ 尿が出にくい。夜間頻尿となる。
- ◎ 体が干からびる。
- ◎ 耳が聞こえにくくなったり、耳鳴りがする。

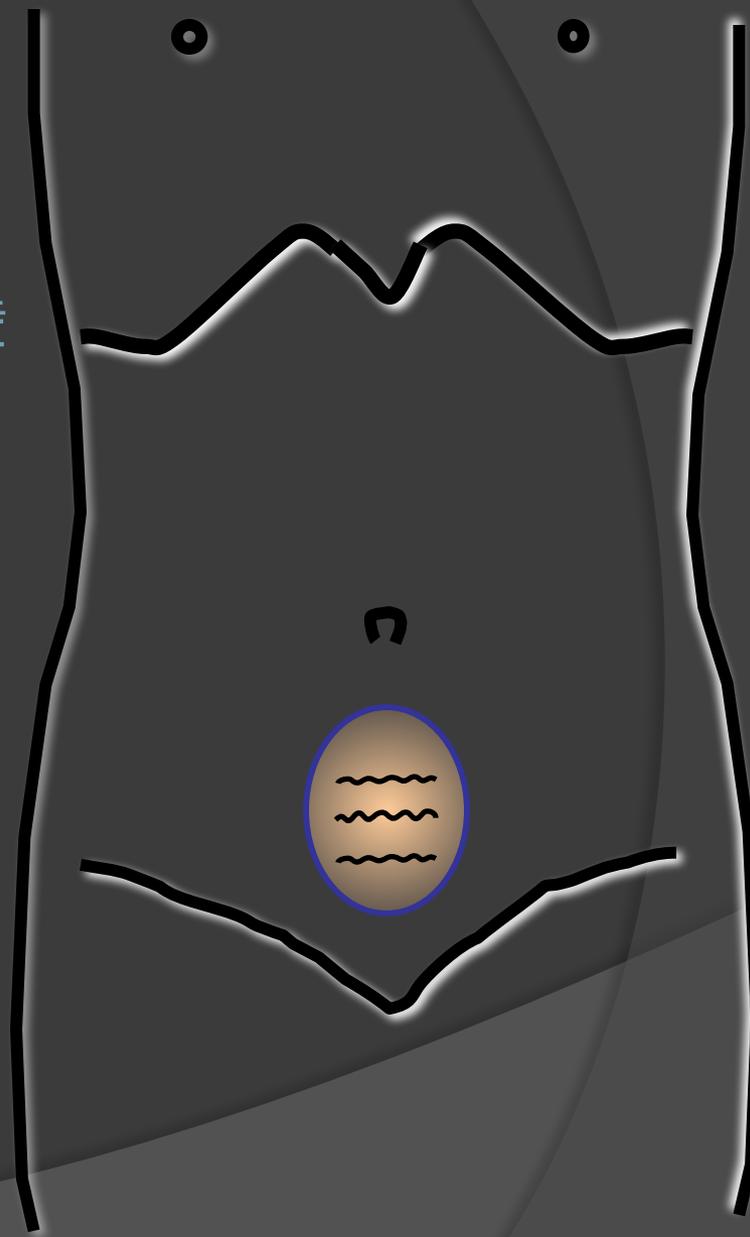
## 腹診所見⑤

しょう ふく ふ じん

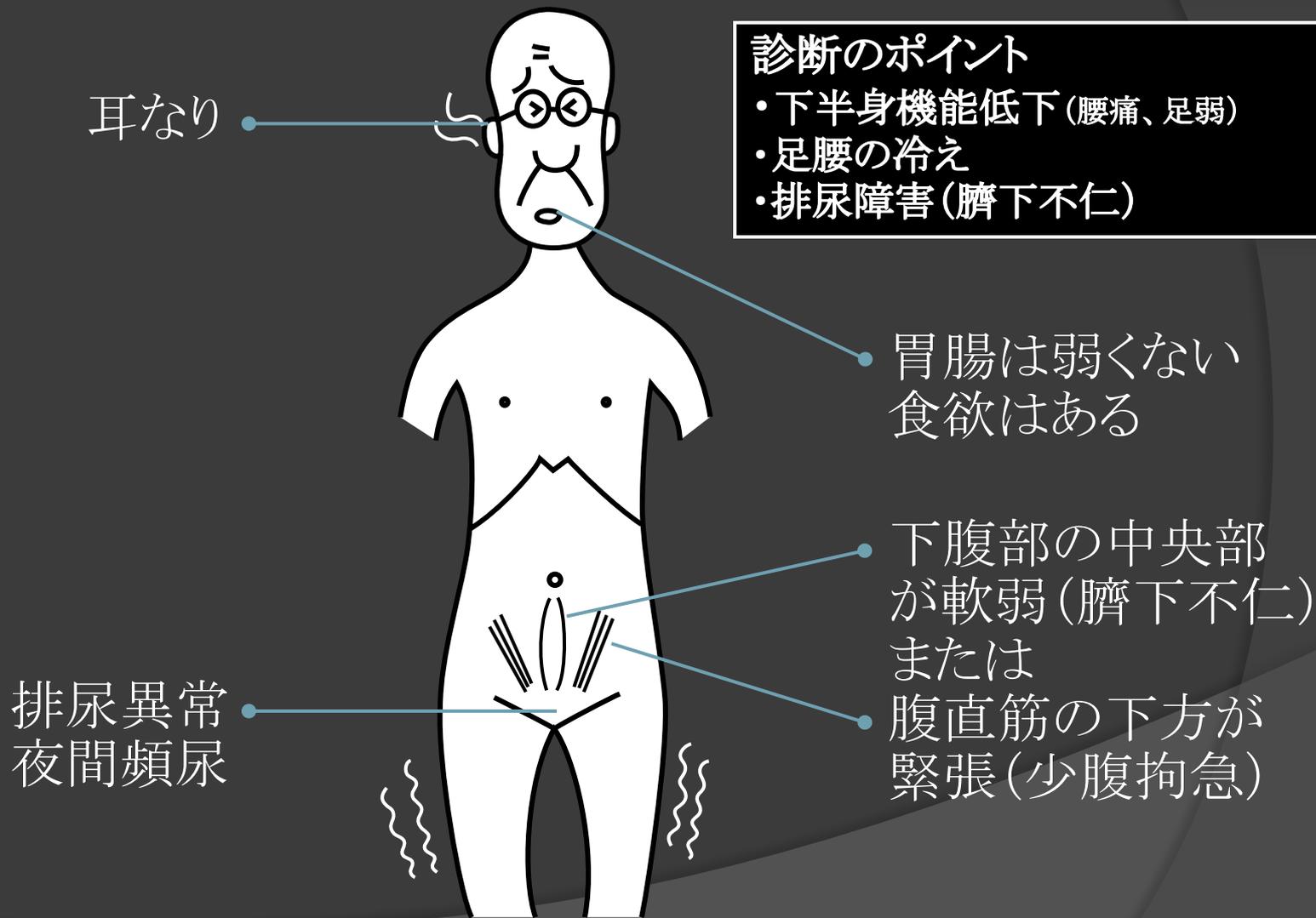
# 小 腹 不 仁

所見：下腹部が軟弱無力で、圧迫すると腹壁が容易に陥没し(典型的には船底型)、按压する指が腹壁に入る。臍下の腹力が臍上のそれに比べて明らかに弱い場合も所見にとる。著しい場合は知覚鈍麻を合併し、次に述べる正中芯を触れることがある。

処方：腎虚を示す腹候であり、八味地黄丸や牛車腎気丸、六味丸などを用いる。



はち み じ おう がん  
八味地黄丸



診断のポイント

- ・下半身機能低下 (腰痛、足弱)
- ・足腰の冷え
- ・排尿障害 (臍下不仁)

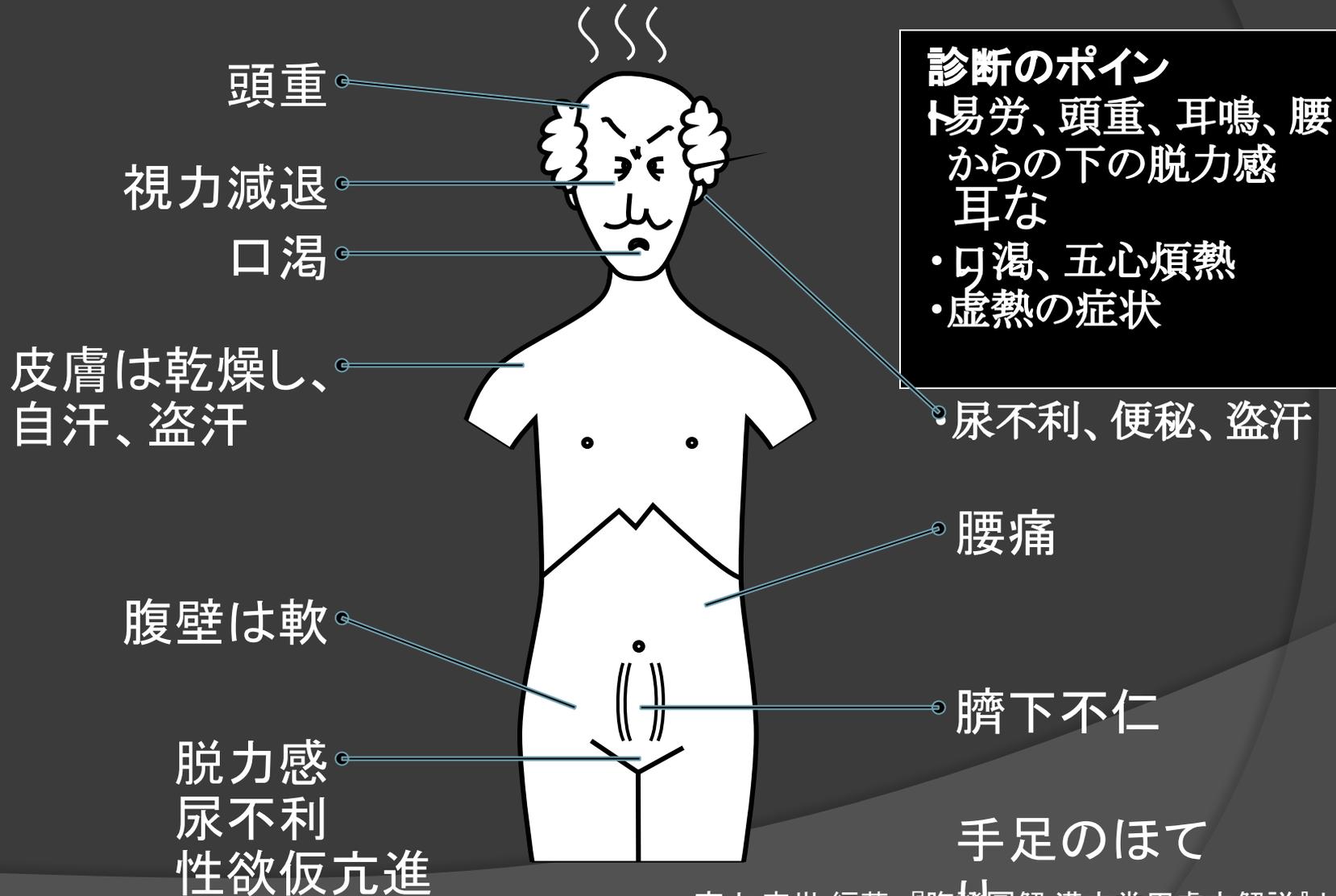
耳なり

胃腸は弱くない  
食欲はある

下腹部の中央部  
が軟弱 (臍下不仁)  
または  
腹直筋の下方が  
緊張 (少腹拘急)

排尿異常  
夜間頻尿

ろく み がん  
六味丸



診断のポイント

易労、頭重、耳鳴、腰からの下の脱力感  
耳な

- ・口渇、五心煩熱
- ・虚熱の症状

尿不利、便秘、盗汗

腰痛

臍下不仁

手足のほてり

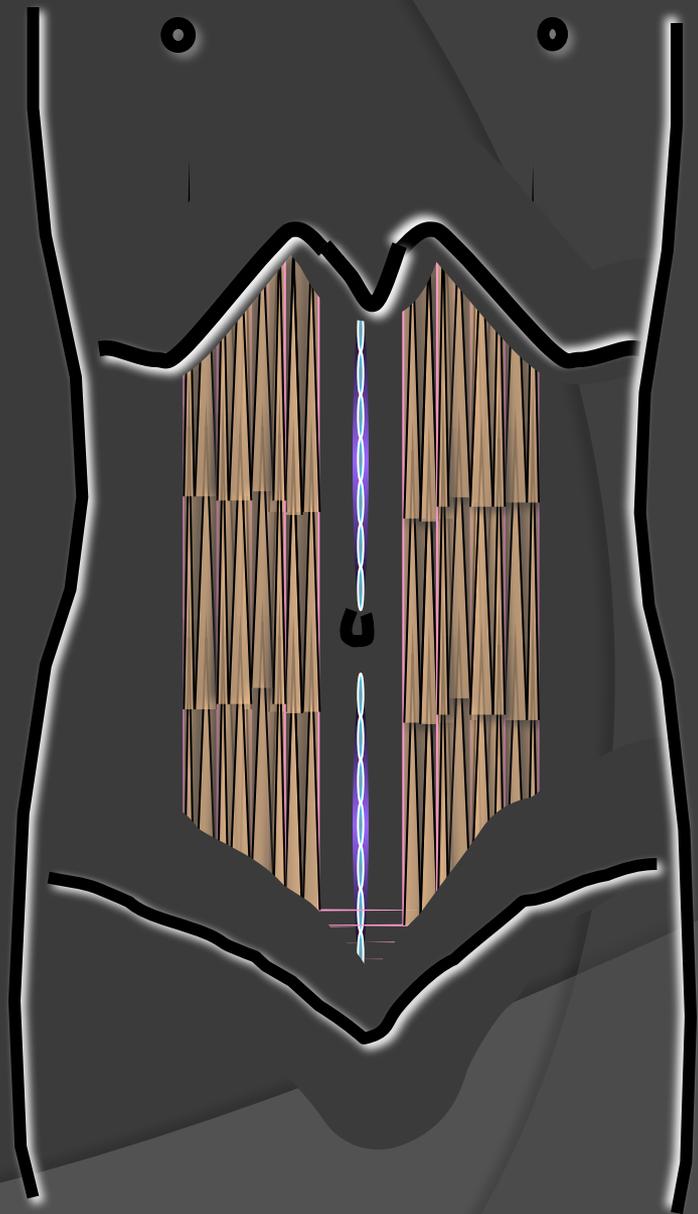
## 腹診所見⑥

せい ちゅう しん  
正中芯

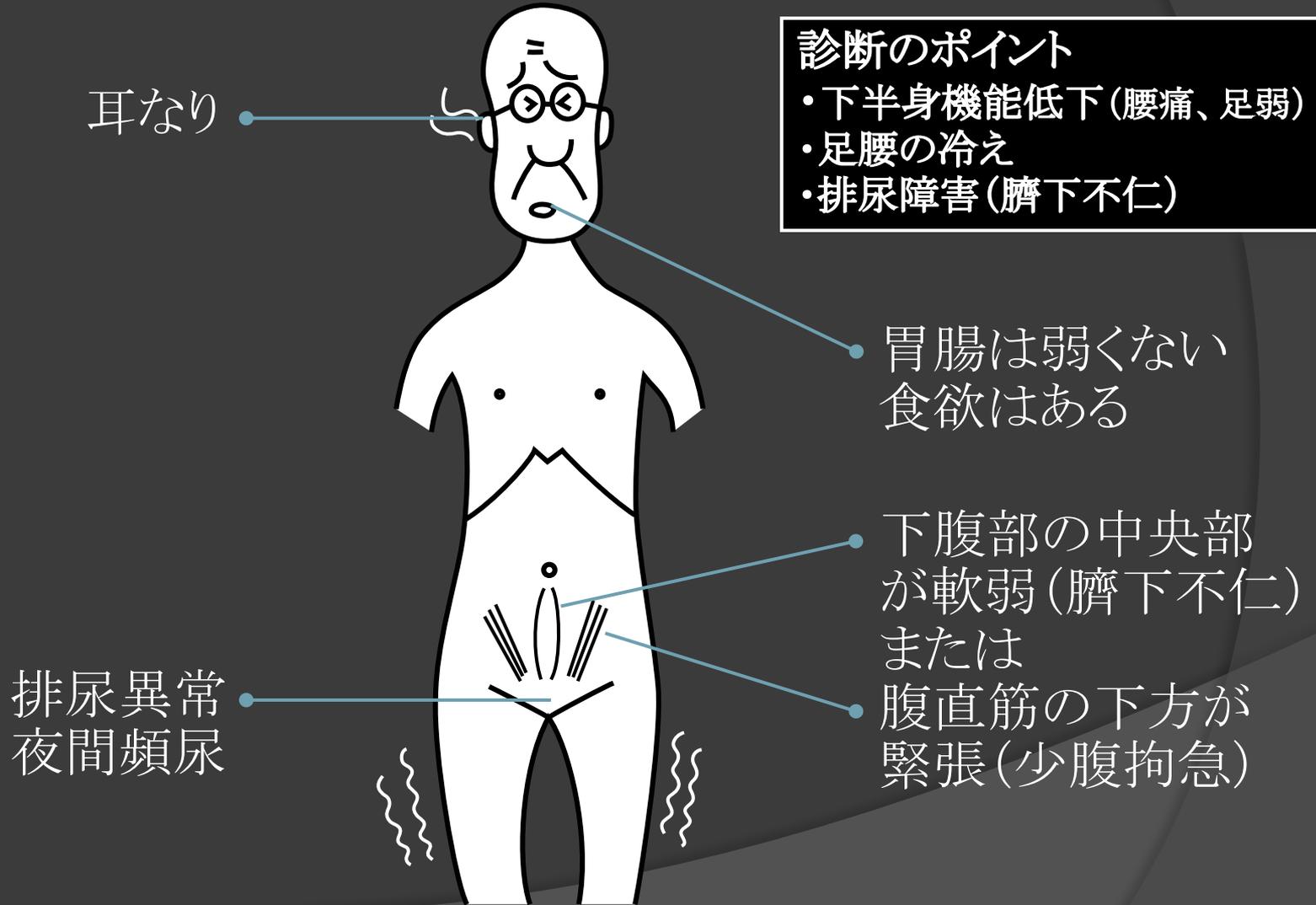
所見：腹部正中線上の皮下に索状物（白線）を触れる。臍上と臍下の両方にあるものと、臍下だけにあるものがある。

通常、按压しても痛みはない。小腹不仁に合併して診られる事が多く、臍上は**脾虚**、臍下は**腎虚**の腹候である。

処方：一般に臍下の正中芯は八味地黄丸、臍上だけの正中芯は人参湯、四君子湯、臍上から臍下につづく正中芯は真武湯の使用目標とされる。



はち み じ おう がん  
八味地黄丸



# 蠕動不穩

- ◎ 腹部の力はなく、腸管が腹壁を通して透見でき、時にムクムクと動く。
- ◎ 腹部が冷えており、大建中湯の腹証として有名。

# 小腹不仁の処方

## ◎ 八味地黄丸

- 地黄6,山茱萸3,山薬3,沢瀉3,茯苓3,牡丹皮2.5,  
桂皮1,附子0.5

## ◎ 六味丸

- 地黄5,山茱萸3,山薬3,沢瀉3,茯苓3,牡丹皮3

だい けん ちゅう とう  
大建中湯

乾姜5, 人参3, 山椒2, 膠飴10

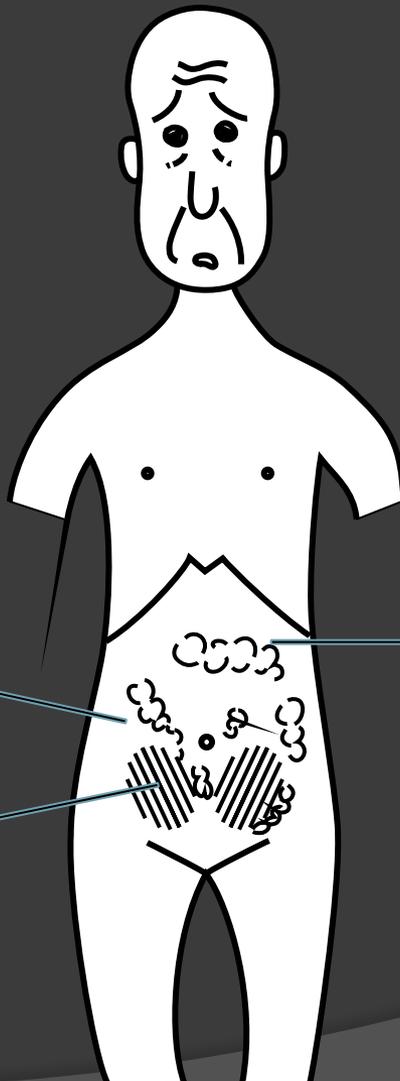
診断のポイント

- ・寒虚証
- ・蠕動不穩、腹痛  
(Subileus の如き症状)

腹壁は軟弱無力  
ときに弦弱

腹痛著し  
腹壁は過敏

腸管の蠕動を  
觸或いは望見で  
きる



おわりに

腹診は

漢方的診断であり  
治療の指示であり  
手当である。